E-Post BossCheck Server 運用&構築事例集

Rev1.9



株式会社イー・ポスト

E-Post およびイー・ポストは、株式会社イー・ポストの日本における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows Server は、米国およびその他の国の Microsoft 社の登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

本マニュアルの無断複製および引用を禁じます。

©イー・ポスト

はじめに

メール上長承認システム「E-Post BossCheck Server」の購入のご検討または、ご購入いただき誠にありがと うございます。

日本でも、急速にインターネットが普及することに伴って電子メールを使う人口が急速に伸び、今ではビジネ スだけでなく、日常生活においても切ってもきれない身近な存在になってきています。その反面いろいろな弊 害が見えてきました。従来から止むことなく続いているウイルスメール、スパムメール、フィッシングなどだけで なく、情報漏えいというセキュリティ面での対策が急務になってきました。2005 年4月の個人情報保護法の施 行や 2008 年4月からの日本版 SOX 法の施行など、メールに関わる環境は目まぐるしく変動しています。

メールは、裁判で証拠として認められるだけでなく、メール1通の処理を誤ると、企業の存立を危うくすることに も繋がることは、ニュースでよく伝えられるような情報漏えい事件でもおわかりのことと思います。

このような背景の中、上長承認メールシステム「E-Post BossCheck Server」が開発されました。上長承認メ ール「E-Post BossCheck Server」を導入するにあたって、どのような環境で導入が可能かを検討したり、利 用形態に基づく運用事例を考えていただくため、本書を作成しました。E-Post BossCheck Server を運用す るにあたり、現場での混乱を回避し、スムーズに運用され、なおかつ本来の目的である情報漏えい防止に役 立つことができるように参考になさってください。

追補) 2014 年 6 月および 10 月に上長承認時に承認者・元のメール・外部宛先などをログから判断する方 法を追加しました。



E-Post BossCheck Server 運用&構築事例集 目次

1.	. 上長承認メールシステムの運用ガイドライン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 -
2. ス	. 社内に既存のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Server を設置して、上長承 テムを導入するケース	<認シ - 3 -
	(メールクライアントソフトの設定事例) (E-Post SMTP Server+BossCheck Optionの SMTP ゲートウェイ設定事例)	•- 4 - •- 7 -
3. 置	. 社外にホスティング業者のメールサーバがあり、社内に E-Post BossCheck Serve して、上長承認システムを導入するケース	r を設 - 9 -
	(運用形態) (メールクライアントソフトの設定事例)	· 10 - · 10 -
	 (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の SMTP ゲートウェイ設定事例) ■構築テストを段階的にうまく行うためには 	· 11 - · 14 -
4. Bo	. 社内に E-Post Mail Server がメールサーバとして稼働しており、オプション機能で ossCheck Option を追加して上長承認システムを導入するケース ***************	ある 16 -
	(運用形態) (メールクライアントソフトの設定事例)	· 17 - · 17 -
5. Se	. 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCh erver を設置し、上長承認システムを導入するケース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ieck 18 -
5. Se	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 	18 - 19 - 20 - 20 - 20 -
5. Se	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 上長承認するパターンと設定事例 	18 - 19 - 20 - 20 - 20 - 20 - 27 -
5. Se 6. 7.	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 上長承認するパターンと設定事例 承認側の使用メールクライアントソフトの画面構成上の違いについて 	eck 18 - 20 - 20 - 20 - 26 - 27 - 30 -
5. Se 6. 7. 8.	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 上長承認するパターンと設定事例 エ長承認時に使用するメールクライアントソフトの画面構成上の違いについて 	eck 18 - 20 - 20 - 26 - 27 - 30 - 32 -
5. Se 6. 7. 8. 9.	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 上長承認するパターンと設定事例 上長承認時に使用するメールクライアントソフトの画面構成上の違いについて 上長承認時に使用するメールクライアントソフトの表示問題について 上長が一時的に代理承認者を切り替える操作方法 上長が一時的に代理承認者を切り替える手順 代理承認者を行い替える手順 	eck 18 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 30 - 30 - 30 - 33 - 33 - 33 - 33 -
5. Se 6. 7. 8. 9.	 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCherver を設置し、上長承認システムを導入するケース (運用形態) (E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例) (設定方法のポイント) (運用上の注意点) 上長承認するパターンと設定事例 承認側の使用メールクライアントソフトの画面構成上の違いについて 上長承認時に使用するメールクライアントソフトの表示問題について 上長が一時的に代理承認者を切り替える手順 代理承認者を元に戻し、上長が承認者を自分に戻す手順 (2)承認待ちリストや履歴を取得する操作方法 	eck 18 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 30 - 30 - 30 - 33 - 33 - 33 - 33 - 33 - 33 - 33 - 33 - 33 -



11.管理者アカウントから履歴一覧を取得する
12. 上長承認時に承認者・元のメール・外部宛先などをログから判断する方法 (EPSTRS v4.81
新機能:上長承認記録ログに送信元 IP アドレスと送信先アドレスを記載 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
13. 上長承認時に承認者・元のメール・外部宛先などをログから判断する方法(EPSTRS v4.82
以降)
索引

1. 上長承認メールシステムの運用ガイドライン

まず、はじめに組織として、E-Post BossCheck Server をどのように使うかという運用ガイドラインを決める必要があります。

運用ガイドラインを決めるにあたって、下記に参考になるポイントをあげてみます。

(A) E-Post BossCheck Server 運用のための規定を決める

既に、個人情報保護法や、プライバシーマーク、日本版 SOX 法などによりメールのセキュリティに関する 規定がされていれば、その規定に定められた方針がそのまま E-Post BossCheck Server の運用規定 になります。

(B) 規定について網羅すること

利用者の範囲 承認者と承認依頼者の関係 代理承認者の指定 代理承認者が承認する条件 承認を必要とするメールの条件 バックアップ(メールアーカイブ)の条件 冗長化に関すること、または、機器停止の場合のメール送信

- (C) 具体的な利用にあたっての詳細な運用ルール
 - ●大量のメールがあるので、全部のメールをいちいちチェックしていられない。 →承認メールの条件をゆるくする。

●上長が外出がちで、すぐ送りたいメールが滞ってしまう。
 →代理承認機能を使う。
 →承認を複数人設定する。

→外出先での承認可能な携帯端末の利用

● 承認待ちのメール一覧がみたい。
 →承認待ちリスト取得機能を使う。
 →メールチェッカー「PostEye」を使う。

● 承認者の登録の方法

→E-Post BossCheck Server のサーバ設定画面で行う。

→E-Post BossCheck Server の Web 管理画面から行う。

● 代理承認者の登録方法

→上長がメールクライアントから代理承認者を指定したり解除したりする。







ユーザーズガイドや当運用マニュアルでは、上図の点線で囲まれた場所を典型的な例として、想定し、設定 方法などを紹介していますが、組織形態が変わればその通りにいかないケースが多々出てまいります。運用 ガイドラインを決めるにあたっては、自社組織に合わせて十分に検討してください。

次ページ以降では、E-Post BossCheck Serverを導入するときに、その設置形態について、大きく3点にわけ、技術的な観点からどのような位置にどう設定するかについて、概要を紹介します。

①社内に既存のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Serverを追加設置して、上長承認システムを導入 するケース

- ②社外にあるレンタルサーバ(ホスティング)と契約しており、社内に E-Post BossCheck Server を追加設置 して、上長承認システムを導入するケース
- ③E-Post Mail Server または E-Post SMTP Server を導入済みかあるいは導入予定で、追加オプションとして BossCheck Option を追加インストールするケース
- ④後段に Microsoft Exchange Server が導入済みで、Exchange Server とクライアントとの間が専用プロトコルで結ばれているため、前段の位置に E-Post BossCheck Server を設置し、上長承認システムを導入するケース(2008.06新機能による対応)



2. 社内に既存のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Server を設置して、上長承認システムを導入するケース





社内に既存のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Server を社内に追加設置して、上長承認システム を導入するケースです。

- ・メールの受信は、既存の社内に設置済みのメールサーバから POP3 または IMAP4 で受信します。メール クライアントソフト側の POP3 サーバや IMAP4 サーバの設定内容は従来と同じです。
- ・メールの送信については、新しく設置した E-Post BossCheck Server (実質的には E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の SMTP サーバを使って上長承認および送信の設定を行います。社内で 利用されているメールクライアントソフト側の SMTP サーバ設定内容をすべて変更します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)に、ドメイン名と利用されて いるアカウントをすべて登録します。前ページの例では、ドメイン名:company.jp、アカウントとして info、 bucho、jicho、ippan などのアカウントを登録設定します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)のアカウントマネージャを使って、上長承認が必要なアカウントに対して、送信制限機能を設定し、上長承認の内容を設定します。前ページの例では、info@company.jp についてのみ設定します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の Mail Control 設定画面 を使って、SMTP ゲートウェイ先を設定し、既存メールサーバにすべてのメールをフォワードする設定にし ます。

(メールクライアントソフトの設定事例)

メールクライアントソフト側の SMTP サーバ設定内容を新しく設置した E-Post BossCheck Server (実質的 には E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の SMTP サーバになるよう、設定変更します。

会課長テストサンブル株式 全般 サーバー 接続 セ	
サーバー情報 受信メールサーバーの種類 受信メール(POP3)(D):	類(M): POP3 192.1680.75
送信メール (SMTP)(<u>U</u>):	192.168.0.75
受信メール サーバー 一 アカウント名(<u>©</u>):	kacho@test-sample01.jp
パスワード(<u>P</u>):	*****
□ セキュリティで保護され; 送信メール サーバー	たパスワード認証でログオンする(S)
□このサーバーは認証が	必要₩ 設定(E)
	OK キャンセル 適用(A)

▼Outlook Express の事例

「ツール」-「アカウント」を選択、「メール」タブを選択します。

アカウントを選択後、「プロパティ」ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスから「サーバー」タブを選択、



「サーバー情報」の「送信メール(SMTP)」の部分を変更します。

▼Microsoft Outlook 2003 の事例

レーザー情報		サーバー情報
Z前(⊻):	user1	受信メール サーバー (POP3) 型: 192168.0.75
電子メール アドレス(E):	user1@test-sampe100.jp	送信メール サーバー (SMTP)(Q): [192.168.0.75
レール サーバーへのロ	グオン情報	設定のテスト
フカウント名(凹):	user1	この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行
ペスワード(<u>P</u>):	****	っことをお勧めします。テストを美行するにはしアカリント 設定のテスト]をクリックします(ネットワークに接続されて シュックの状態にます)
v /	ペスワードを保存する(<u>R</u>)	
メールサーバーがセーバーがセールたパスワード認証 いる場合には、チェッ してください(L)	キュリティで(保護さ (SPA)にさす応して り ボックスをオンに	

「ツール」ー「電子メールアカウント」を選択、「既存の電子メールアカウントの変更」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。アカウントを選択後、「変更」ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスから「サーバー情報」の「送信メールサーバー(SMTP)」の部分を変更します。

メールボック.	ス名⊗:	Test Samp	ole00 - user1				
基本設定	接続	メール作成	受信 詳細	1			
一個人情報	iiii						
名前(N):		useri					
メールアト	*レス(<u>A</u>):	user1@tes	st-sample00.jp				
- <u>+-/:</u> -	情報			<i>₽2/÷~</i> 1		Inone	
				(文)1日/1	NTANTA	ТРОРЗ	
POPSH	_バー(母(≣)(M) 192	168.0.75				POP3S
SMTPサ	ーバー(送)	言)(<u>S</u>): [192	.168.0.75				SMTPS
ユーザー	ID(<u>U</u>):	user1@test-:	sample00.jp	パスワード	(<u>P</u>): *****	kikikik	
認証方式	式(日) 6	標準(APOP				
区受信		-バー(:)種甘(ω <u>Γ</u>	日 日後6道	11金(0の場合	遺脈金しない)(D)
	<i></i>	71 (0)27	<u>به</u>		10.000.00	11 11 11 10 10 10	· •
名前:あた	よたの名前	を入力します。	,				
ここに入力	された名前	は、メールアト	ドレスと対になって	て、あなたが送付	言するメールの)差出人欄(From:)(言語
定されます	•						
100400000000							
					NOO 2525000 D	mainto (ex.)	THE AND A AT
プロファイル	(B): (4	[準)		-	新規(₩)	削除(<u>U</u>)	取达(型)

▼Becky!の事例

「ツール」ー「メールボックスの設定」を選択、「基本設定」タブを選択します。 「サーバー情報」の「SMTP サーバー(送信)」の部分を変更します。



▼Shuriken の事例



「設定」-「アカウント登録設定」を選択します。

「アカウント登録設定」ダイアログボックスの「グループ」から「送信」を選び、「送信(SMTP)サーバーの名前」 の部分を変更します。

アカウント設定		×
 ippan@epositest.jp サーパ激定 コピーと特別はフォルダ 編集とアドレス入力 ディスク特単 門討確認 セキュリティ 10ecse-positic.jp サーパ激定 コピーと特別はフォルダ 編集とアドレス入力 ディスク特単 門封ず確認 セキュリティ 20ecse-positic.jp サーパ酸定 ローング育場域 門封ず確認 セキュリティ 20ecse-positic.jp サーパ酸定 ローンルダ ディスク特域 一時封確認 セキュリティ ローンカル ディスク特域 ブインク領域 送信 (SMTP) サーバ 	送信 (SMTP) サーバの設定 アカウントを複数お持ちの場合でも、設定が必要な送信 (SMTP) サーバは 10だけです。メッセーバ名を入力してださい。 1 - 1921680.34 (既定) LocalTest E-Post Win - 1921680.75 egostrestio - 1921680.41 SMTP サーバ 送信日(小) SWEP (小) 第四日(小) 第四日(市) (日) 第四日(市) (日) 第四日(市) (日) (日) <th>ジ送信に使用するサー 道加(<u>D</u>). 編集(<u>E</u>). 育I除(<u>M</u>) 既定値(:設定(<u>T</u>)</th>	ジ送信に使用するサー 道加(<u>D</u>). 編集(<u>E</u>). 育I除(<u>M</u>) 既定値(:設定(<u>T</u>)
アカウントを注意加(A) 既定のアカウントに設定(F) アカウントを削除(R)		

▼Thuderbird の事例

「ツール」ー「アカウント設定」を選択します。

送信(SMTP)サーバを選択、設定済みのSMTPサーバを選択したあと、「編集」ボタンをクリック、「SMTPサーバ」ダイアログボックス内のサーバ名を変更します。



(E-Post SMTP Server+BossCheck Optionの SMTP ゲートウェイ設定事例)

・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の Mail Control 設定画面を 使って、SMTP ゲートウェイ先を設定し、既存のメールサーバにすべてのメールをフォワードする設定を行い ます。

Mail Controlを開き、「サーバー設定」タブを選択、「SMTP ゲートウェイ」欄に既存のメールサーバを指定します。同時に「全受信メールを SMTP ゲートウェイへ転送」チェックボックスをオンにします。

SMTPゲートウェイ	smtp.company.jp ▼ 全受信メールをSMTPゲートウェイ/	
メール用作業フォルダ メールボックスフォルダ DNS サーバー――	C¥mail¥inbox¥%USERNAME%	Plain 💌
▶ アカウントマネージャ起動。	·	



なお、既存のメールサーバの SMTP が SMTP 認証を実施していなければ、E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の SMTP 認証設定はオフの設定にしておきます。 Mail Control を開き、「サービス制御」タブを選択、SMTP 認証方法は「NO」に設定します。

	セキュリテルヘル ・ 非認証有効 ・ 認証専用 ・ 認証ファイル	
EPSTRS	VRFY,EXPNコマンドに応答。 Received へッダの編 開始 停止 前除 ポート 25 詳細 マルチスレッドで EPSTDS を実行する。 スレッド数	集 Ⅲ 1
EPSTDS	開始 停止 前隊 ポート 25 詳論	

一方、Account Managerを使って、すべてのユーザーアカウントを登録します。

基本的に使用する可能性のあるユーザーアカウントはすべて登録する必要があります。

/ - E-POST Mail Acc 設定(S) ドメイン(D) 7か	ount Manager 外(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>	r (LDAP Acco) AN7°(<u>H</u>)	ount) (Lo	cal)						_ 🗆 ×
₽ <u>₽</u> : ::: III 8										
🖃 🛋 Domain Lists	account	full name	home	domain	Mail Control	SMTP-AUTH	APOP	Box Limit	POP3	IMAP4
E ge company.jp Ge User Ge Aliases Ge ge test-sample.jp	🗭 info 🗭 bucho 🛱 kacho 🖉 buka	דיראיז די רא די די	/home/ ト リウント III マスワード ** レネーム /h ーム /h	dehi in 0 *** nome/		Nn OK キャンセル	Yes Yes Yes Yes	No No No	enable enable enable enable	enable enable enable enable
b7 ³ 4		۲ ۴ ٦ ٦ ٦	メイン cc -ルボックス サ SMTP-A POP3無交 IMAP4無 '#shared/	ompany.jp イス [*] 制限 UTHを使用 カ 効 [*] フォルダ [*] : 「	0) 書込み許可	∿'仆 	_			NUM J

また既存のメールサーバの SMTP が SMTP 認証を実施していなければ、各ユーザーの「アカウント」設定画面で「SMTP-AUTH を使用」チェックボックスをオフにします。

もし、社内導入済みのメールサーバが SMTP 認証を実施している場合は、設定方法が変わります。 次ページ 以降を参照してください。



3. 社外にホスティング業者のメールサーバがあり、社内に E-Post BossCheck Server を設置して、上長承認システムを導入するケース E-Post Boss Check Server (上長承認メール機能)

外部レンタルサーバ組み合わせ構成例





社外にホスティング業者(レンタルサーバ)のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Server を社内に追加 設置して、上長承認システムを導入するケースです。

- ・メールの受信は、既存のレンタルサーバのメールサーバから POP3 または IMAP4 で受信します。メールク ライアントソフトの POP3 サーバや IMAP4 サーバの設定内容は従来と同じです。
- ・メールの送信については、新しく設置した E-Post BossCheck Server (実質的には E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の SMTP サーバを使って上長承認および送信の設定を行います。社内で 利用されているメールクライアントソフトの SMTP サーバ設定内容をすべて変更します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)に、ドメイン名と利用されて いるアカウントをすべて登録します。前ページの例では、ドメイン名:company.jp、アカウントとして info、 bucho、jicho、ippan などのアカウントを登録設定します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)のアカウントマネージャを使って、上長承認が必要なアカウントに対して設定します。前ページの例では、<u>info@company.jp</u> について設定します。
- ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の Mail Control 設定画面 を使って、SMTP ゲートウェイ先を設定し、レンタルサーバのメールサーバにすべてのメールをフォワード する設定を行います。
- ・レンタルサーバのメールサーバ設定によっては、OP25Bを実施しているところや、SMTP認証を実施しているところがある場合、E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の
 Mail Control 設定画面を使って、メールをフォワードで送信する際のポート番号を25から代替ポート番号の587などに設定変更します。
- ・E-Post BossCheck Server マシンに割り当てる IP アドレスは、静的に IP アドレスを割り当てま す。社内で使うことを限定にするなら、ローカル IP アドレスでもかまいません。なお、承認依頼 者(一般社員)や上長(部長や課長)が社外にいるときでも、上長承認システムを使えるようにす るには、固定のグローバル IP アドレスを取得し、E-Post BossCheck Server マシンにフォワード するような手法が必要になります。基本的には社内に公開メールサーバを立てる方法と同じです。

(メールクライアントソフトの設定事例)

メールクライアントソフト側の SMTP サーバ設定内容を新しく設置した E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の SMTP サーバに切り替える設定にします。

基本的には、前ページまでの「2. 社内に既存のメールサーバがあり、E-Post BossCheck Server を追加 設置して、上長承認システムを導入するケース」と同等です。メールクライアントソフト側の設定方法はそち らを参照してください。



(E-Post SMTP Server と BossCheck Server の SMTP ゲートウェイ設定事例) ・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)の Mail Control 設定画面を 使って、SMTP ゲートウェイ先を設定し、ホスティング業者(レンタルサーバ)のメールサーバにすべてのメー ルをフォワードする設定を行います。

Mail Controlを開き、「サーバー設定」タブを選択、「SMTP ゲートウェイ」欄にホスティング業者(レンタルサ ーバ)のメールサーバを指定します。同時に「全受信メールを SMTP ゲートウェイへ転送」チェックボックスを オンにします。

SMTPゲートウェイ	smtp.company.jp ▼ 全受信メールをSMTPゲートウェイ/	<u>₹=77ル編集</u> ∖転送。
メール用作業フォルタ		
メールボックスフォルダ - DNS サーバー	U:#mail#inbox#%USERNAME%	Plain 🔳
	192.168.0.1	肖邶余
▼ アカウントマネージャ起動。		



なお、ホスティング業者(レンタルサーバ)のメールサーバの SMTP が SMTP 認証を実施している場合、 E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)でSMTP 認証を有効にする設 定を行います。

まず Mail Control を開き、「サービス制御」タブを選択、SMTP 認証設定を該当する認証方法に切り替え、 セキュリティレベルを「認証ファイル」に設定します。

	● 非認証有効 ● 認証専用 ● 認証774ル
	C VRFY,EXPNコマンドに応答。 Received ヘッダの編集 日時に 信止 宮原な ユル・ト 25 詳細
EPSTRS	「第以6 17止 17止 17小5 ホート 20 手前回 「マ マルチスレッドで EPSTDS を実行する。 スレッド数 1
EPSTDS	開始 停止 削除 ポート 25 詳細

また、ホスティング業者(レンタルサーバ)のメールサーバが OP25Bを実施していて、代替ポートとして 587番 ポートを指定できる場合は、EPSTDS のポート番号を「587」に変更します。

サーバー設定	SSL設定 ドメイン管理 サービス制御 中部	単の制限
SMTP 認証方法	: LOGIN CRAM-MD5	
	セキュリテルヘル C 非認証有効 C 認証専用 で 認証ファイル	3
	□ VRFY,EXPNコマンドに応答。 Receivedヘッダの系	■集
EPSTRS	開始 停止 削除 ポート 25 話	뙒
	▼ マルチスレッドで EPSTDS を実行する フレッド数	1
EPSTDS	開始 停止 肖耶条 ポート 587 副	¥新田 💧



続いて EPSTDS の「詳細」ボタンをクリックすると、「配送の詳細(SMTP)」ダイアログボックスが表示されるの で「ESTMP で送信」のチェックボックスをオンにし、「SMTP 認証方法」を▼ボタンをクリックして表示されるリ ストから選択します。

配送詳細(SMTP)	×
リトライ間隔 120	や毎 「 リトライ間隔のまま OK ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
リトライ回数(受信拒否)	90
リトライ期間(回線異常)	8 時間
リトライ期間(マシン無応答)	24 時間
I ESMTPで送信	
SMTP認証方法	PLAIN LOGIN CRAM-MD5
USER ID	
PASSWORD	
MXキャッシュの更新間隔	864000 (s)

このとき USER ID と PASSWORD を空欄にしておきます。空欄にしておくと、Account Manager で各ユー ザーに設定された ID とパスワードでそのままログインしようとします。

一方、Account Manager を使って、すべてのユーザーアカウントとパスワードを登録します。 基本的に使用する可能性のあるユーザーアカウントはすべて登録する必要があります。

 E-POST Mail Acc 設定⑤ ドル(20) 7加2 	ount Manager 小(A) 表示(V)	r (LDAP Account) (Local) NJJ°(H)					_ 🗆 🗵	
₽ <u>₽</u> :- ::: ::: ?								
🖃 🗾 Domain Lists	account	full name home domain Mail Contr	ol SMTP-AUTH	APOP	Box Limit	POP3	IMAP4	
E Se company.jp	1 info	/home/ debuin	No	Yes	No	enable	enable	
	12 bucho	7.877F		Yes	No	enable	enable	
Allases	12 kacho	7カウント (111)	ОК	Yes	No	enable	enable	
Test-sample in	S buka			Yes	No	enable	enable	
E S test sample.jp		ハ*スワート* *****	キャンセル					
		フルネーム	-					
		亦一ム /home/						
		ドメイン company.jp						
			メールボックス サイス* 制限	፬ እኅኑ				
		✓ SMTP-AUTHを使用						
		□ POP3無効						
bīt ^s i	1	□ IMAP4無効 '#shared/' フォルダ: □ 書込み許可						
			参照					

またホスティング業者(レンタルサーバ)のメールサーバのSMTPがSMTP認証を実施している場合、各ユー ザーの「アカウント」設定画面で「SMTP-AUTHを使用」チェックボックスをオンにします。



■構築テストを段階的にうまく行うためには

実際に、初めて構築テストするときは、E-Post SMTP Server に E-Post Boss Check Option を追加 すると、段階をふまえた切り分けがむずかしいので、E-Post Mail Server に追加してみることをお薦 めします。

なお、プロバイダにある外部メールサーバにフォワードさせてのいきなりの稼働は、かなり難易度が 高くなりますので、ステップアップしながら、一段階ずつ動作検証するとよいでしょう。

ステップ① 上長承認機能自体が働くかどうかの検証

単体のマシンで、E-Post Mail Server のインストールの後、E-Post BossCheck Option をインストー ルし、上長承認を有効にしておきます。

アカウントマネージャから、実際にプロバイダで運用している同じドメインを E-Post Mail Server 内に作成し、テスト用アカウントを3つ以上作って、サーバマシン自体のメーラから上長承認機能が 働くかどうかを検証します。

ちなみに、"sender.dat"は、内部外部を問わず、無条件に承認する形のごく簡単な設定にしておきます。

例) test1 アカウントから test3 へ送信する際、test2 が承認するケース

【test1アカウントの"sender.dat"の内容】

*:1::test2@domain.jp

メーラの SMTP サーバと POP3 サーバの項目は、ローカルの IP アドレスを直接指定して行います。

うまくいけば、念のため、クライアントマシンのメーラからも検証するとよいでしょう。 動作することが確認できれば、2の手順以降は、POP3サーバは使用しないので、EPSTPOP3Sは停止させてかまいません。

ステップ② プロバイダへフォワードする SMTP ゲートウェイ機能が働くかどうかの検証

②-(1).アカウントマネージャから、プロバイダで実際に運用している同名のアカウントを1つ作成します。

②-(2).P.12 を参照して、プロバイダの SMTP サーバにフォワードする設定を行います。(※1)

②-(3).同上 P.13-14 を参照して、プロバイダの SMTP サーバと接続するとき、SMTP 認証で接続でき る設定を行います。

②-(4).メールクライアント側の SMTP サーバ項目について、LAN 内に設定した E-Post Mail Server +BossCheck Option をインストールしたマシンの IP アドレスに変更します。

②-(5).(上長承認しない設定の状態で)メール送信できるか試します。

E-Post Mail Server を SMTP ゲートウェイとして、プロバイダの SMTP サーバに認証した上で、接 続でき、さらに送信できるかどうかをテストします。(※2)

※1 DNS に関しては、プロバイダの SMTP サーバにフォワードするとき、名前解決ができなければ、



当然うまくフォワードできませんので、E-Post Mail Server の DNS サーバ項目について、DNS リレ ー機能があるルータなどの IP アドレスを指定するなど、DNS 参照が正しく行われる状態にすること が必要です。

Windows にある「ネットワーク接続」の DNS サーバ項目も正しい状態にしておいてください。 そのマシンから DNS がきちんと参照できる環境になっているかどうか、以下の FAQ の 2.を参考に 確認してください。

http://www.e-postinc.jp/faq/faq01-02.html

※2 プロバイダが OP25B を実施しているときは、次の FAQ を参考にしてください。

http://www.e-postinc.jp/faq/faq03-17.html

ステップ③ SMTP ゲートウェイ機能が働く状態で上長承認機能を使っての検証

上記2までの結果が問題ないことが確認できれば、さらにプロバイダに登録済みの同名アカウントを 追加し、送信ができるのを確認した上で、片方アカウントの"sender.dat"を書き換え、上長承認機能 を有効にして、上長承認機能が働くかどうかを確認します。

注意)上長承認機能を有効にしたり、SMTP ゲートウェイを設定したり、DNS サーバを設定した場 合など、基本的に何らかの設定変更をしたときには、サービスプログラムの再起動が必要です。Mail Control の「サービス制御」タブにある EPSTRS、EPSTDS などを「停止」→「開始」するように してください。



社内に E-Post Mail Server がメールサーバとして稼働しており、オプション機能である BossCheck Option を追加して上長承認システムを導入するケース

E-Post Mail Server & Boss Check Option(上長承認メール機能) イー・ポストメールサーバだけによる構成例





(運用形態)

社内に E-Post Mail Server が導入されていて、E-Post BossCheck Option を追加設置して、上長承認シ ステムを導入するケースです。

- ・メールの受信は、E-Post Mail Server から POP3 または IMAP4 で受信します。メールクライアントソフト の POP3 サーバや IMAP4 サーバの設定内容は従来と同じです。
- ・メールの送信については、E-Post Mail Server の SMTP サーバを使って上長承認および送信の設定を 行います。メールクライアントソフトの SMTP サーバの設定内容は従来と同じです。
- ・E-Post Mail Server に登録されているドメイン名と利用されているアカウントをそのまま利用します。
- ・E-Post Mail Server+BossCheck Option のアカウントマネージャを使って、上長承認が必要なアカウントに対して設定します。前ページの例では、<u>info@company.jp</u> について設定します。

(メールクライアントソフトの設定事例)

メールクライアントソフト側の POP3 サーバや IMAP4 サーバ、SMTP サーバの設定内容は、社内に E-Post Mail Server が導入済みの時に設定したときと同じで、設定変更が必要な箇所は特にありません。



5. 社内に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCheck Server を設置し、上長承認システムを導入するケース

E-Post Boss Check Server \succeq Microsoft Exchange Server $\succeq o$







(運用形態)

社内の後段位置に Microsoft Exchange Server が導入済みで、前段の位置に E-Post BossCheck Server を設置して上長承認システムを導入するケースです。

- ・社内に Microsoft Exchange Server が導入済みの環境に、上長承認システムを導入するには、 Exchange Server - クライアント間の通信が専用プロトコルで使われることが多く、変更すること は困難ですから、E-Post BossCheck Server を前段の位置に設置します。このとき、Microsoft Outlook などのクライアント側の設定は変更不要です。メールは導入前と変わらず、Exchange Server と専用プロトコルを使って送受信します。
- ・新しく設置した E-Post BossCheck Server には、サブドメイン名をエイリアスで設定し、割り当てます。
- ・本ドメイン名のある Exchange Server 側から見れば、E-Post BossCheck Server に設定されたサ ブドメイン名に対して、フォワードされるように設定します。
- ・E-Post BossCheck Server 側では、承認依頼メールが Exchange Server からフォワードされてくる ことにより、承認や却下が行われるようにサブドメインでの承認・却下の設定をします。
- E-Post BossCheck ServerのSMTPゲートウェイ機能によって、外部宛メールは外部へフォワードし、本ドメイン宛のメールは内部の後段位置にある Exchange Server に振り向けるように、設定します。





(E-Post SMTP Server と BossCheck Server の設定事例)

・E-Post BossCheck Server (E-Post SMTP Server+BossCheck Option)にエイリアス機能を使って、サ ブドメインを設定します。さらに、SMTP ゲートウェイ機能にある「テーブル編集」を設定して、Exchange Sever ヘフォワードされるように設定します。

(設定方法のポイント)

ここでは、例として、ドメイン名を test.jp とし、サブドメイン名を sub.test.jp とします。

1. E-Post SMTP Server の Mail Control 画面「ドメイン管理」タブを開き、運用ドメイン欄に本ド メイン名が作成済みか確認します。本ドメイン名が存在しないときは、ドメインを作成します。ま た、アカウントが存在しないときは、すべてのアカウントを登録します。

例) 作成済みドメイン: test.jp

※作成済みドメインには、全アカウントが登録されていることを前提とします。

なお、<u>サブドメインである sub.test.jp は、ドメインとして作る必要はなく、以下の項目3で説明し</u>ている通り、エイリアスとして認識できるように設定します。

※従って、サブドメインを作成する必要はありません。また、サブドメイン内にアカウント・ユーザーを作成 する必要はありません。

2. Account Manager を開き、承認を必要とする送信者アカウントに対して設定する承認パターン 設定ファイル"sender.dat"について、下記の1行を先頭行に追加し、<u>サブドメイン宛のメールにつ</u> いて承認を必要としないための設定を追加します。2行目以降は通常の承認パターン設定ファイル での記述内容をそのまま残してください。

例)サブドメイン名を"sub"とする場合
------(sender.dat)-----*@sub.test.jp:0
(2行目以降は通常の承認パターンの記述)

※この設定を行わないと、BossCheck Sever 内で生成されるサブドメイン宛のメールがさらに承認を必要と する状態になってしまいます。



- 3. サブドメインをエイリアスで設定します。Mail Control 画面「エイリアス」タブを開き、次のようにエイリアスを作成します。
 - 例)エイリアス: 実アドレス:

*@sub.test.jp \rightarrow *@test.jp

※サブドメインを実ドメインとして作成しておく必要はありません。

Allases 1.107/ABAE x-1/27/US N-5/2/URBAE MList **@sub.test.jp* -> **@test.jp* I/U772: 東7/1/U2 I/U772: 東7/1/U2 V7Y 3870	Domain Lists Alia	E-POST Mail Control (Soft Account) (Local) サーバー設定 SSL設定 ドメイン管理 サービス制御 中継の制限
I4977: 第7下17: I+@subitest.jp → P@test.jp	Aliases	Iイリア人該定 メーリングリスト ログ設定 メールフィルタ ハーション/情報
IdD77: 東方下ひた: IdD74		
/ ^{7²// ¹●Subtestip → 1+9testip 方²/ 道加 前除}		エイリアス: 実行トレス:
	-7°1	*®sub.test.jp → *@test.jp

4. "<メール作業フォルダ>¥reg¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥"フォルダ内に

"MailApprovalDomain.2"というテキストファイルを作成し、ファイル内にサブドメイン名を記述 して保存します。記述時には末尾に改行を加えないように注意します。

例)サブドメイン名を"sub"とする場合

----- MailApprovalDomain.2(ここから) -----sub

------ MailApprovalDomain.2(ここまで) -------※<メール作業フォルダ>は、デフォルトでは、"C:¥mail"です。

C:#mail#reg#SOFTWARE#EMWAC#IMS			
ファイル(E) 編集(E) 表示(W) お気(こ入り(A) ツ	ール① ヘルス(円)		A
🔇 戻る 🔹 🕥 🛛 🎓 検索 防 フォルダ 🎼) × 9 🔤		
アドレス(D) 🗁 C:¥mail¥reg¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS	3		▼ 🛃 移動
フォルダ	× 名前 ^	サイズ 種類	更新日時 ▲
🕑 デスクトップ		ファイル フォルダ	2008/05/14 18:44
	Domain	ファイル フォルダ	2008/05/14 17:46
□ 3 71 12/21-9	Secur	ファイル フォルダ	2008/05/14 17:56
H 3 35 1 J + FU (A)	AccountManager 1	1 KB 1 7241	2008/05/15 11:27
E C Desumente and Settings	Account Manager Ick	0 KB LCK 7711	2008/05/15 11:27
E Comail		· ····· · · · ·	
H C approval	provalDomain.2 - 文七張 /// またの) またのの きょうの		
Cluster	##朱信/ 香い(0) 秋小(0) /0//0/		
🛅 dead Sub			
a domains			
C exclusive			
Contraction in the second seco			
Control exclusive Control holding Image:			
ica exclusive ica holding inbox ica incoming			
Constructive Constructions Co			
 consistence constant const			
c exclusive holding boding bo	a lasthsid 1	1 KB 1 754/J	2008/05/15 1136
exclusive hoking boking boking incoming inits mocash rec rec for rec boking boking inits common 4 for rec boking boking common 4 common	ja Latifiziali Latifiziali Latifiziali kk	1 KB 1 ファイル 0 KB LCK ファイル	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36
	■ JastMezizi ■ LastMezizikk ■ LostMezizikk	1 КВ 1 Эр-Ли 0 КВ LCK Эр-Ли 1 КВ 1 Эр-Ли	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:38
exclusive holding exclusive holding bint into incoming hint into into into into into into into i	d LastMezid1 d LastMezid1k d LocalFaitresToPostmaster.1 d LocalFaitresToPostmaster.ick	1 KB 1 ファイル 0 KB LCK ファイル 1 KB 1 ファイル 0 KB LCK ファイル	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/14 18:44 2008/05/14 18:44
	LatMazil 1 LatMazil 1 LatMazil kiteri förstmaster 1 LocalFaitres Törsstmaster 1 Mailogravid Domani2	1 KB 1 2747Jr 0 KB 1 CK 7747Jr 1 KB 1 7747Jr 0 KB 1 CK 7747Jr 1 KB 2 7747Jr	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/14 18:44 2008/05/14 18:44 2008/05/15 10:29
	LastMadd1 LastMadd1 LastMadd1k LocaFaiuresToPostmaster.1 LocaFaiuresToPostmaster.ck MailApproval.0cman2 MailApproval.0cm1	КВ 1794/J КВ 1794/J КВ 1794/J КВ 1794/J КВ 1794/J КВ 2794/J КВ 2794/J КВ 1794/J	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/14 18:44 2008/05/14 18:44 2008/05/15 10:29 2008/05/14 18:01
		1 KB 1 274/J 1 KB 1 274/J 1 KB 1 274/J 1 KB 1 274/J 1 KB 2 774/J 1 KB 2 774/J 1 KB 1 774/J 0 KB 1 0K 774/J	2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/15 11:36 2008/05/14 18:44 2008/05/15 10:29 2008/05/14 18:41 2008/05/14 18:01
exclusive choking cho	Id LastMazid 1 LastMazid kk LastMazid kk LocalFikires ToPostmaster.1 LocalFikires ToPostmaster.1 LocalFikires ToPostmaster.1 MailApprovalLoc1 MailApprovalLoc1 MailApprovalLoc1 MailApprovalLoc2	1 KB 1.7+1/k 0 KB LCK 7>+1/k 1 KB 1.7>+1/k 0 KB LCK 7>+1/k 1 KB 2.7+1/k 1 KB 2.7>+1/k 0 KB LCK 7>+1/k 1 KB 2.7>+1/k	2009/05/15 11 36 2009/05/15 11 36 2009/05/15 11 36 2009/05/15 11 36 2009/05/15 1029 2009/05/15 1029 2009/05/14 1801 2009/05/14 1801
exclusive holding exclusive holding birtor incoming lists lists cref constructed birtor	destructure destructu	1 KB 1 274/k 0 KB 10K 774/k 1 KB 1 274/k 0 KB 10K 774/k 1 KB 2 274/k 1 KB 2 274/k 0 KB 10K 274/k 1 KB 2 274/k 0 KB 10K 774/k	2007/05/16 1136 2008/05/16 1138 2008/05/14 1384 2008/05/14 1384 2008/05/16 1029 2008/05/14 1381 2008/05/14 1381
	di Last Mazia I di Last Mazia I. di Local Faitzes To Postmaster. 1 di Local Faitzes To Postmaster. 1 Mail Approval Local Mail Approval Local Mail Approval Local Mail Approval Local Mail Approval Manager 2. Mail Approval Manage	1 KB 1 7+1/4 0 KB 10K 7+1/4 0 KB 10K 7+1/4 1 KB 12+1/4 1 KB 17+1/4 1 KB 17+1/4 1 KB 127+1/4 1 KB 127+1/4 1 KB 127+1/4 1 KB 127+1/4 1 KB 127+1/4	2009/05/15 11-36 2009/05/15 11-36 2009/05/14 11-36 2009/05/14 11-34 2009/05/14 11-34 2009/05/14 11-34 2009/05/14 11-30 2009/05/14 11-30 2009/05/14 11-34
exclusive holding exclusive holding exclusive holding	LastMedia1 LastMedia1 LastMedia1 LoalFeitresToPostmaster.1 LoalFeitresToPostmaster.1 MailApprovalLoc1 MailApprovalLoc1 MailApprovalLoc1 MailApprovalManager.1 MailApprovalManager.1 MailApprovalManager.1 MailApprovalManager.1	1 KB 1 75-7/h 0 KB 10K 75-7/h 1 KB 17-7/h 1 KB 27-7/h 1 KB 27-7/h 0 KB 10K 75-7/h 1 KB 27-7/h 0 KB 10K 75-7/h 1 KB 27-7/h 0 KB 10K 75-7/h	2009/05/15 11:36 2009/05/15 11:36 2009/05/15 11:36 2009/05/14 11:34 2009/05/14 11:34 2009/05/14 11:34 2009/05/14 11:34 2009/05/14 11:34 2009/05/14 11:34



5. Mail Control 画面「サーバー設定」タブにて、「テーブル編集」ボタンをクリックし、メモ帳で 表示される"gateway.dat"を以下の通り、明示的に記述・設定します。



Mail Control 画面の「サーバー設定」タブ画面にある「テーブル編集」ボタンで"gateway.dat"を 明示的に記述することによって、内部ドメイン宛は確実に Exchange Server 側に転送され、それ 以外の外部宛は外に配送される形のままで、送信が可能になります。

- 6. 1~5の設定作業が完了したら、Mail Control 画面「サービス制御」タブにて、EPSTRS サービスをいったん停止→開始させる方法で、サービスを再開します。
- 7. Microsoft Exchange Server マシン側の設定に関して、後段位置に置いた E-Post BossCheck Server を外部ドメイン向け SMTP ゲートウェイとしてフォワードする設定を行います。具体的に は、Exchange Server 側で「送信コネクタ」を設定します。



Microsoft Exchange Server 2007 での設定例を以下に紹介します。

- ・送信コネクタの新規作成方法
- (1) [組織の構成] [ハブトランスポート] を選択

[送信コネクタ] タブを選択

右クリックメニューから「送信コネクタの新規作成」を選択

🔀 Exchange 管理コンソール				_ 🗆 ×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルス	(Ĥ)			
⇔ → 🗈 🖬 🔮 🖬				
3 Microsoft Exchange	墨 ハブトランスポート		1 個のオブジェクト	操作
 Microsoft Exchange (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	☆ ハクトランスポート リモートド3人() リペーサリック 名前 - Laddefault-cend-connector	 電子メールアドレスポリシー エッジ サブスのリフション 送信コネクタの新規作成⑤/ 一覧のエクスポート①/ 表示 ◎ 未示 ◎ へルブ(⊕) 	1 個のオジンDF トランスポートルール グローバル設定	

(2) 「SMTP 送信コネクタの新規作成」ウィザード「概要」 送信コネクタに任意の名前を付け、送信コネクタの使用目的を「インターネット」にする。

(3)「SMTP送信コネクタの新規作成」ウィザード「アドレススペース」
 [追加]ボタンをクリックすると、「SMTP アドレススペース」ダイアログボックスが表示されるので、「アドレス」欄に「*」を入力し、[OK]ボタンをクリック。

🔀 Microsoft Exchange	🗟 ハブトランスポート 1 1	個のオブジェクト 操作
 ○ 日朝の様式 ○ コッパト プクセス ○ フッパト プクセス ○ パング トングスストー ○ コンパト プクセス ○ プリーバーの構成 ○ フッパト プクセス ○ プリーバーの構成 ○ フッパト プレス ○ プリーバーの構成 ○ プリーバーの構成 ○ プリーバーの ○ プリーバーの ○ プリーバーの ○ プリーバーの 	リモートドメイン 単記:素約ドメイン 電子メールアドレス ポリシー トランス ジャー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ホートルール

(4) 「SMTP 送信コネクタの新規作成」ウィザード「ネットワーク設定」 デフォルトのまま進む。



- (5) 「SMTP 送信コネクタの新規作成」ウィザード「送信元サーバー」 デフォルトのまま進み、次の完了画面で終了する。
- 8. さらに、Microsoft Exchange Server 側で「受信コネクタ」の設定についても、許可するように 設定を行います。

7 と同様に、Microsoft Exchange Server 2007 での設定例を以下に紹介します。

- ・受信コネクタの許可設定
- (1) [サーバーの構成] [ハブトランスポート] を選択

 [受信コネクタ]に表示されるデフォルトの SMTP 接続である「Default ~」項目を選択
 (2) プロパティ画面を開き、「許可グループ」タブを選択、「匿名ユーザー」のチェックボックスを オンにする。

🔀 Exchange 管理コンソール			- D ×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルコ	¢(H)		
← → € € 9 0			
Microsoft Exchange	ちょ ハブトランスポート	1 個のオブジェクト	操作
白山細織の構成	マフィルタの作成(R)		ハブ トランスポート
	28 - D. C. B. MEVCODO TO REA		📄 一覧のエクスポート(L)
一番 ハブ トランスポート	VMEXCG	True	表示 •
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	全般 ネットワーク 認証 話キョリクルーノ	1	る 最新の情報に更新
	この受信つネクタに接続を許可されるフーザーを指定します。		19 AUT
クライアントアクセス	□ 理タコーサー(0)		
ニーニュニファイド メッセージング	▼ ant-tutut		VMEXCG2
日本 交信者の構成	₩ Exchange サーバー⊗		🛼 メールボックス サーバーの役割の管
ア	▼ レガシ Exchange サーバー(L)) D	🛓 クライアント アクセス サーバーの役
メール連絡元	E VMEXCI (K-FJ-(P)		🧐 受信コネクタの新規作成(N)
一 一 の ツールボックス	受信コネクタ		✓ プロパティ(R)
	名前 ^		Default VMEXCG2
	Client V Default		 (D) 無効にする(D)
			★ 削除(\/)
			▼ロパティ(R)
			B ~117
	OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	il l	
		<u> </u>	
		I	
		I	
		I	
	<u></u>		

- 9. Microsoft Exchange Server マシンについて、E-Post BossCheck Server 側に作成したサブドメ イン名に対する名前解決が確実に行われるよう、念のため明示的に設定します。
 - 例) Exchange Server マシン側の hosts ファイルを記述する。



以上の設定によって、上長へ送信される承認依頼メールでは、「mail to:」以降に記載される送信先について、以下のように書き換えたメールが送信されるようになります。

<承認依頼者アカウント>@<ドメイン>	
Ļ	
<承認依頼者アカウント>@<サブ>.<ドメイン>	

引き続いて動作を確認します。

- 10. イメージ図の③承認依頼メールが承認者宛に送られたとき、「mail to:」以降に記載される送信 先が<承認依頼者アカウント>@<サブ>.<ドメイン>となっていることをメールクライアント で確認します。万が一、4で記述したファイル内で改行していると、送信先も改行されてしまうの で注意してください。



11. 承認者が [承認] もしくは [却下] のリンクをクリックして、承認したときは外部に配送され、 承認通知メールが送信者宛に届く、却下したときは却下通知メールが送信者宛に届くというように、 きちんと実行されるかどうか確認します。



(運用上の注意点)

承認者が承認待ちリストを取得するための「waitlist_」コマンド、代理承認機能の代理承認者設定用 のコマンド「setproxyuser_」を始め、**管理者用のコマンドなどは、すべてサブドメインのメールアドレ <u>ス宛に送る</u>必要があります。本ドメインのメールアドレス宛に送っても、これらのコマンドは働かな いので、注意が必要です。**

例) 承認待ちリストを取得するとき:

bucho@sub.test.jp 宛に 件名:「waitlist_」で送信して、承認待ちリストを取得します。 「waitlist_」は、管理者用のコマンドなので、サブドメインのメールアドレス宛に送信します。

👔 waitlist_									- 🗆 ×
] 7711(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入①	書式②	ツール①	メッセージ(<u>M</u>)	ヘルプ(圧)		20
□ □ 送信		1 20 =	G IE-	いた いたしてい 「話り付け	り 元に戻す	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	スペル チェック	1 添付	*
圓 宛先	bucho@si	ıb.test.jp				10	1		
件名:	waitlist_								
	:								*
									*

例)代理承認者を設定するとき:

bucho@sub.test.jp 宛に 件名:「setproxyuser_kacho@test.jp」で送信して、代理承認者を設定 します。宛先はサブドメインのメールアドレス宛ですが、代理承認者として件名内に指定するアド レスは、サブドメインにはしないで、本来のドメインにします。間違わないように気をつけてくだ さい。

😭 setproxyuse	r_kacho@test.jp - メッセージ(テキスト形式)	
:ファイル(E) 編	課(E) 表示(V) 挿入(0) 書式(0) ツール(I) アクション(A) ヘルプ(H)	
: □ 送信(S) ア	አታንሥለ 🛛 📲 🛃 🐰 🖿 🚉 🏂 🖉 🔛 🖏 😤 🧏 🕴 🔻 🖓 🧐 🖓 👘	
差出人(<u>R</u>)		
宛先。	bucho@sub.test.jp	
CC(<u>C</u>)		
件名(」):	setproxyuser_kacho@test.jp	
		X



6. 上長承認するパターンと設定事例

上長承認する何種類かのパターンを元に、E-Post BossCheck Server (BossCheck option) での設定 方法をシミュレーションしてみます。

承認を依頼するアカウントに対して、送信先の制限を設定する拡張機能を使って、上長への承認を依頼する設定を行います。

Account Manager を開き、承認を依頼するアカウントを選択、右クリックメニューから「送信先制限」を選択します。

/ - E-POST Mail Accou 設定(S) ドメイン(D) 7加	unt Manager (Soft / ウント(A) 表示(V)	Account) (Local) ^/レプ(H)			_ D ×
P≞ ∷- ⅲ ? ⊡-, Domain Lists	account	full name	home	domain	Mail Control
Company ip Ser Aliases MList	12 user1 22 user2 2 okyaku 2 ippan 2 bucho 2 inter エクスフロ メール本前 メールスイ 和川明朝 这信語 ユーザー ユーザー フーザー	ippan bucho 中气② 即④ 过發定(M) 間設定(T) 制限⑤ 过 道加(A) 変更〔(J)	/home/ /home/ /home/ /home/ /home/	company.jp company.jp company.jp company.jp company.jp company.jp	
		インホ [®] ート① エクスホ [®] ート(<u>E</u>)			NUM

「sender.dat」ファイルがメモ帳で開かれますので、その設定ファイル内に上長承認するパターンに あわせて、記述します。設定パターンは以下に4通りほどあげてみます。ここでは内部ドメインを架 空の「company.jp」として想定します。

外部に送信されるメールを無条件に上長が承認するケース

🝺 sender.dat - メモ帳	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
『 'このファイルは送信者の送信先を制限する場合、許可する送信先を1行毎に設定します。 '許可するアドレスには、'*'ワイルドカードしても可能です。 '例〕特定のドメイン宛を許可 ,*@domain.co.jp	A
#@company.jp:0 *:1::bucho@company.jp,kacho@company.jp	

1行目:内部ドメイン宛に送信するときは、承認依頼せず無条件に送信する。

2行目:それ以外に送るとき(=外部に送信するとき)は、添付ファイルありなしに関わらず、無条件に2人の上長(buchoとkacho)宛に承認を依頼する。



外部に送信されるメールで添付ファイルがあるときのみ、上長が承認するケース

🝺 sender.dat - ४२५	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
 ' このファイルは送信者の送信先を制限する場合、許可する送信先を1行毎に設定します。 '許可するアドレスには、'*'ワイルドカードしても可能です。 '例) 特定のドメイン宛を許可 ,*@domain.co.jp	×
*@company.jp:0 *:2::bucho@company.jp,kacho@company.jp	

1行目:内部ドメイン宛に送信するときは、承認依頼せず無条件に送信する。

2行目:それ以外に送るとき(=外部に送信するとき)は、添付ファイルありの場合のみ、2人の上 長(buchoとkacho)宛に承認を依頼する。

外部に送信されるメールでタイトルに指定キーワードがあるときに、上長および担当責任者が承認するケー ス

sender.dat - メモ帳	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
 ' このファイルは送信者の送信先を制限する場合、許可する送信先を1行毎に設定します。 ' 許可するアドレスには、'*' ワイルドカードしても可能です。 ' 例」特定のドメイン宛を許可 ,*@domain.co.jp	A
*@company.jp:0 *:1:file=C:¥mail¥inbox¥company.jp¥info¥keyword.txt:bucho@company.jp	

1行目:内部ドメイン宛に送信するときは、承認依頼せず無条件に送信する。

2 行目:それ以外に送るとき(=外部に送信するとき)は、指定されたキーワードファイル (keyword.txt)に設定された語句がタイトルに含まれている場合、添付ファイルありなし に関わらず、1人の上長(bucho)宛に承認を依頼する。



keyword.txt の例

📕 keywol	rd.txt -	メモ帳			
ファイル(E)	編集(E)	書式(<u>O</u>)	表示⊙	ヘルプ(圧)	
社外秘 見積 技術資料					4
					×.
×					2 .::

特定のドメイン宛に送信されるメールのみ、上長が承認するケース



1行目:指定されたドメイン宛に送信するときは、添付ファイルありなしに関わらず、無条件に1人の上長(bucho)宛に承認を依頼する。



7. 承認側の使用メールクライアントソフトの画面構成上の違いについて

E-Post BossCheck Server が承認依頼メールを承認依頼者から上長に送るのは、依頼者のメールを eml形式のファイルにして、そのファイルを添付することによって実現しています。そのため、上長 側(承認側)が使用するメールクライアントソフトによって、承認依頼のメールの表示形態が異なり ます。

Microsoft Outlook や OutlookExpress、Windows Mail、Mozilla Thuderbird などでは、添付された eml 形式ファイルはアイコンで表示されます。アイコンをダブルクリックして内容を確認します。 それに対して、Becky!や Shuriken では、添付された eml 形式のファイルは別のタブに表示されます。 タブを選択して内容を確認します。

▼Microsoft Outlook 2003 での表示形態 – 添付された eml 形式ファイル

11.2	Last 10		of the Avenue
	🖂 🛭 user1@test.jp	承認依頼(user1@test.jp)外部送信テスト2	2009/01/13 (火) 11:04 8. 💎
	🖂 🕘 bucho@test.jp	代理承認者設定	2009/01/13 (火) 11:02 4. 👳
	🖂 🗿 bucho@test.jp	承認通知(bucho@test.jp)	2009/01/13 (火) 11:02 7. 👳
	🖂 🛽 bucho@test.jp	保留通知外部送信テスト1	2009/01/13 (火) 11:01 6. 👳
	🖂 🛽 bucho@test.jp	Re: 内部送信テスト1	2009/01/13 (火) 10:58 3. 👳
	🖂 🕘 user1@test.jp	Microsoft Office Outlook テスト メッセージ	2009/01/13 (火) 10:54 3. 👳
			-
	7年認依東斯(user1@test.jp) か	10516アスト2	
	user1@test.jp		
	JEJE woorrecook.p		
	漆付ファイル: 🖂 公司(第16万人) 2 62	7(4 h) (3 KB);	
		「「日に」の「一些旧字説の「日告」	_
	を要求するものです。		
	可否のアクションは以下のリ	シクをクリックし、表示された	
	メールを送信することで完了	します。	
			a second s
	[承認] mailto:user1@sub.tes	t.jp?subject=approval_B0000000048@dXNlcjFAdGVzdC5qcCA	gICAg&bodv=Date:%20%54%75%65%
	2C%20%31%33%20%4A%61%6E	<u>%20%32%30%30%39%20%31%31%3A%30%35%3A%31%34%20%2B%3</u>	10%39%30%30%0AFrom:%20%3C%75%
	73%65%72%31%40%74%65%739	174%2E%6A%70%3E%0ASubject:%20%8A%4F%95%94%91%97%90%	4D%83%65%83%58%83%67%82%51
	[却下] mailto:user1@sub.tes	t.jp?subject=reject_B0000000048@dXNlcjFAdGVzdC5gcCAgI	CAg&body=Date%20%54%75%65%2C%
	20%31%33%20%4A%61%6E%20	K32%30%30%39%20%31%31%3A%30%35%3A%31%34%20%2B%30%3	9%30%30%0AFrom:%20%3C%75%73%
	65%72%31%40%74%65%73%74%	2E%6A%70%3E%0ASubject%20%8A%4F%95%94%91%97%90%4D%	83%65%83%58%83%67%82%51
	「送信先アドレス]		
	okvaku@enosttest in		_
_	onyanae opeottest.jp		
»			

▼Outlook Express での表示形態 – 添付された eml 形式ファイル

Ø ⊠budairi ⊠bucho Ø ⊠userl@test-sample	永認通知Gudairi@test-sample00.jp) 承認待ち一覧Gucho@test-sample00.jp) 9 承認依頼Guser1@test-sample00.jp) 社外への連絡77	2009/01/21 10:47 2009/01/21 10:37 2009/01/21 10:34
▲ 送信者:user1@test-sample00.jp 宛 件名:承認依賴(user1@test-sample0	先:bucho@test-sample00.jp; kacho@test-sample00.jp; budairi@test-sample00.jp 0.jp) 社外への連絡77	
このメールは、添付ファイルの を要求するものです。 可否のアクションは以下のリ メールを送信することで完了	D内容について送信承認の可否 ンクをクリックし、表示された します。	▲ 社外への連絡77 (51.6 KB) 添付ファイルの保存
[承認] mailto:user1@test-sat subject=approval_B00003121 20%57%65%64%2C%20%32%31% 0AFrom:%20%75%73%66%72%3 0ASubject%20%8E%D0%8A%4	mple00.jp? 07@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbgUwMC5gcCxrYWNob0B0ZXN0LX1 20%AA%1%6E%20%32%30%30%30%20%31%30%3A%33%34%3A%34%34%3 1%20%3C%75%73%5%5%72%31%40%74%65%73%74%20%73%61%6D%70%6C F%2%D6%32%CC%95%41%97%8D%37%37	NhbXBsZTAwLmpwLGJ1ZGF 0%2B%30%39%30%30% %65%30%30%2E%6A%70%3E%
[却下] <u>mailto:user1@test-sai</u> subject=reject_B0000312107 20%57%65%64%2C%20%32%31% 0AFrom:%20%75%73%65%72%3	<u>mple00.jp2</u> @YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbgUwMC5qcCxrYWNob0B0ZXN0LXNhh (20MAAN61%6FN20N22N30M30N30N31%20M31%30M3A433N24N2A32N24N2 11220N3C4757759K557X281440574K557442D27N3054442D	bXBsZTAwLmpwLGJ1ZGFpc 0%2B%30%39%30%30% %65%30%30%2E%6A%70%3E%
0ASubject:%20%8E%D0%8A%4 ∢ ጵ₿₿\$≢₫.	F%82%D6%82%CC%98%41%97%8D%37%37	<u>)</u>

(注意!)

Outlook Express では、「ツール」-「オプション」を選択し、「セキュリティ」タブにある「ウイル スの可能性がある添付ファイルを開いたり保存したりしない」チェックボックスをオフにしておかな いと、添付された eml ファイルを開いて確認することができません。



▼Mozilla Thunderbird での表示形態 – 添付された eml 形式ファイル



▼Becky!での表示形態ー別タブに切り替え



▼Shiriken での表示形態-右エリアに表示(別タブに切り替え)





8. 上長承認時に使用するメールクライアントソフトの表示問題について

上長承認時に使用する主要なメールクライアントソフト、Outlook Express、Windows Mail、 Microsoft Outlook、Becky!、Shuriken、Mozilla Thunderbird などでは、特に問題なく上長承認機 能が使えることがわかっています。

しかし、一部のメールクライアントソフトによっては、以下のような表示上の問題が発生することが 判明しています。これは、eml形式ファイルが添付され、さらに添付ファイルが含まれていたときの 表示上の問題、mailto:リンクがあるときの表示上の問題などです。メールクライアントソフトの仕様 上の問題にかかわることですので、BossCheck Server 側が対応策を取ることは事実上困難です。以 下にあげる2種類のメールクライアントソフトは、承認者側で使用するときはできるだけ避けた方が 賢明かと思われます。

〈EdMax フリー版〉 version 2.85.6F

●承認者側で使用しているとき、承認依頼メール本文を確認するための eml 形式の添付ファイルは表示できるが、さらに添付ファイルがあると MIME エンコード領域がそのまま表示されてしまう。 →承認者として、本文だけの承認依頼を確認し承認または却下をすることはできるが、添付ファイル があるときは確認ができない。

\langle Al-Mail32 \rangle version 1.13a

●承認者側で使用しているとき、「承認」または「却下」の mailto:リンクが1行続いているにもかか わらず、「?subject」語句のところで、リンクがとぎれてしまう。

→承認時に上長が、手作業で title 部分をコピーしておき、アドレスの部分のみクリック、送信画面 で title 枠に貼り付けして送信すれば、承認送信が可能。ただし、こうした操作はやや面倒である。

●承認依頼メール本文は eml 形式の添付ファイルではなく、本文の下にそのまま引用されて続いて表示される。

→これは表示上の問題だけなので、利用する上での支障は特にないものと思われる。

なお、次のメールクライアントソフトは、送信者(承認依頼)側で使用したときに、表示上の癖があることが判明していますが、表示上の癖なので、運用には特に支障がないものと思われます。

〈Mozilla Thuderbird〉 バージョン 2.0.0.6

●承認依頼側で使用しているとき、却下通知を受けると、却下通知理由と、承認依頼の本文とが却下 通知メールの添付ファイル2つとして送られてくるが、そのファイルをそれぞれ開くと、承認依頼本 文メール→却下通知メール→承認依頼本文メールというように、次から次へ何重にも開いてしまう。 承認通知を受け取ったときは、表示上の問題は特にない。

2007/08/03



9. 上長が一時的に代理承認者を切り替える操作方法

設定された上長が、出張や休暇などで一時的に代理承認者を切り替えるには、「件名」に定められた コマンドを入力し、自分宛に送信することで行われます。一時的な代理承認者は、アカウントとして 存在すれば OK で、「送信先制限」で設定されている必要はありません。

この方法は、メーリングリストの加入や脱退などコマンドを送信する手法によく似ています。メール クライアントソフトには、送信時のテンプレート機能を持っているものがあるので、そうした機能を 活用すれば、コマンドの入力ミスを減らし、入力する手間を省くことが可能になるでしょう。

上長が一時的に代理承認者を切り替える手順

「件名」に「setproxyuser_代理承認者メールアドレス」と入力し、通常の承認者である上長が自分 宛に送信します。P.18 のように BossCheck が前段に位置する構成の場合は、自分宛のアドレスは「サ ブドメイン付き」で「bucho@sub.company.jp」として送る必要があります。P.26 を参考にしてくだ さい。

setproxy	user_kacl	no@compa	ny.jp - d	いっセージ (テキスト形式	C)					- 🗆 ×
: ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	挿入①	書式(<u>O</u>)	ツール①	アクション(A)	ヘルプ(円)				
: □ 送信(S)	アカウント	(N) • 🗈	オブション(日) 🎽 📜		•	• <u>A</u>	BI	U∣≣		
差出人(B)											
宛先。	buck	no@compan	y.jp								
CC(<u>C</u>)											
BCC(<u>B</u>).										 	
件名(<u>J</u>):	setp	roxyuser_k	acho@com	pany.jp							
											*

この後は、代理承認者に承認依頼メールが送られてくるようになります。

代理承認者を元に戻し、上長が承認者を自分に戻す手順

「件名」に「setproxyuser_」とだけ入力し、通常の承認者である上長が自分宛に送信します。前述 と同じ BossCheck が前段に位置する構成の場合は、ここでも自分宛のアドレスは「サブドメイン付 き」で「bucho@sub.company.jp」として送る必要があります。P.26 を参考にしてください。

😭 setproxyu	اد – _iser	ッセージ (テキスト形式	(2)									
: ファイル(E)	編集(E)	表示⊙	挿入仰	書式(0)	ツール①	アクション(A)	ヘルプ(円)						
; 🖃 送信(<u>S</u>)	アカウント	(<u>N</u>) • 💼	オプション(日)		•	- <u>A</u> I	I	<u>u</u>	EE	38	E (F	A=
差出人(<u>R</u>).													
宛先。	buck	no@compan	iy.jp										
CC(<u>C</u>)													
BCC(<u>B</u>)													
件名(」):	setp	roxyuser_											
													*

この後は、通常の承認者である自分に承認依頼メールが送られてくるようになります。



10.承認待ちリストや履歴を取得する操作方法

設定された上長が、承認待ちリストを取得するには、「件名」に定められたコマンドを入力し、自分 宛に送信します。前述と同じ BossCheck が前段に位置する構成の場合は、ここでも自分宛のアドレ スは「サブドメイン付き」で「bucho@sub.company.jp」として送る必要があります。P.26 を参考に してください。

上長が承認待ち(未承認)リストを取得する

「件名」に「waitlist」と入力し、自分宛に送信します。

😭 wailtlist_	- メッセー	ジ (テキス	ト形式)											_	
: ファイル(E)	編集(E)	表示(⊻)	挿入①	書式(2)	ツール(丁)	アクション(A)	ヘルプ(日)								
送信(S)	アカウント	(<u>N</u>) • 🔛	1 %		•		-	- <u>A</u> B	I	<u>U</u>	FT	電話	Ξ.		A=- A=-
差出人(<u>R</u>).	. <u>buc</u>	no@compan	y.jp						_	_	_			_	
宛先。	buc	no@compan	y.jp												
CC(<u>C</u>)															
件名(J):	wai	tlist_													
															*

受信すると承認待ちのリストが取得されます。



承認待ちリストから [承認] したり、[却下] することが可能です。



11.管理者アカウントから履歴一覧を取得する

上長が管理者アカウントとして設定されているときのみ、管理者アカウントとして上長承認の履歴一 覧(上長承認の記録ログ)を取得することが可能です。

E-Post BossCheck Option を起動し、事前に管理者アカウントを設定しておきます。

「履歴を残す」チェックボックスをオンにし、「管理者アカウント」に入力します。

▶ 上長承認を有効	助こする。	
▶ 履歴を残す。		
管理者アカウント	bucho@eposttest.jp	
= / +2 17		1 #Presil

「件名」に「approvalgetlog_」と入力し、自分宛に送信すると、これまでの履歴一覧を取得するこ とができます。履歴テキストファイルが添付されて送られてきます。前述と同じ BossCheck が前段 に位置する構成の場合は、ここでも自分宛のアドレスは「サブドメイン付き」で 「bucho@sub.company.jp」として送る必要があります。P.26 を参考にしてください。

(1) [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	メッセ	ージ (テ	キスト形式	()										
: ファイル(E)	編	<u></u> 集(E)	表示(⊻)	挿入①	書式(<u>O</u>)	ツール①	アクション(A)	ヘルプ(日)						
; III 送信(S) P	カウント	N) - 🛃	1 %		*		•	• <u>A</u> B	<i>I</i> !	₫∣≣	* *	律律	AT
差出人(日	V	buch	o@compan	v.ip										
宛先。		buch	o@compan	v.ip										
CC(<u>C</u>).	-	i 🗖												
件名(<u>J</u>):		appr	ovalgetlog	-										
														-



12. 上長承認時に承認者・元のメール・外部宛先などをログから判断する方法 (EPSTRS v4.81 以前)

ここでの記述は、2014年7月1日以降の最新差分を適用しない状態、EPSTRSのバージョンが 4.81以前の場合の説明になります。

上長承認時に、メールを承認した者は誰か、元の承認を必要としたメールはどれか、そのメール の外部宛先はどこ宛なのか、などを判断していくには、ログを順番に突き合わせて調べていきま すが、その手順を紹介します。承認/却下それぞれどのように見ていくか例にあげてみましょう。 なお、ここでは下記のログが取得されている必要があります。ログを取得していない場合は、取 得する設定にしてください。

- a. 上長承認の履歴一覧(上長承認記録ログ) [approval¥log]
- b. SMTP 受信ログ [inlog]
- c. SMTP ローカル送信ログ [outlocallog]

(※レジストリでの設定が必要。詳細はオンラインヘルプか FAQ 記事を参照)

d. SMTP 送信ログ [outlog]

e. SMTP 配送詳細ログ [senderlog] (※必須ではないが、よりくわしく調査するときに参考にする)

■ [承認] メールを調べる場合

1-a. 承認/却下結果のログ-approval¥log より

- (1) [承認] メールのメッセージ ID を調べる →2へ
 ▼埋め込まれたメッセージ ID が判明する
 例) メッセージ ID:B0000318868
- (2) [承認]を下した承認者は誰かを調べる▼埋め込まれたアドレスより承認者が判明する

例) <u>bucho</u>

- (3) [承認] を下した時間を調べる →4へ
 - ▼ [承認] された日時が判明する
 - 例)<u>14:19:19</u>

🛄 140609.txt - 火モ帳 📃 🗖 🖌
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
[2014/06/09:14:19:07] [承認] 承認者=bucho@test-sample00.jp 承認メール =B0000318867@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9h0HBLc30tc2EtcGy1MD4uap4gIC4g
[<u>2014/06/09:14:19:19</u>] [承認] 承認者= <u>bucho@test-sample00.ip</u> 承認メール = <mark>B0000318868</mark> @YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb 9hQHR1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAgICAg
L2UI4/U6/U9:I4:I9:54」L却ト」承認者=bucho@test-sampleUU.jp 承認メール =B0000318871@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg
[2014/06/09:14:25:48] [承認] 承認者=kacho@test-sample00.jp 承認メール =B0000318878@a2FjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCAg [2014/06/09:14:26:08] [承認] 承認者=kacho@test-sample00.jp 承認メール
=B0000318880@a2FjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCAg [2014/06/09:14:26:22] [却下] 承認者=shonin_a@test-sample00.jp 承認メール =R0000318875@YpViaC9AdCVzdC1zYW1wbClwMC5qcCvzaC9uzW5fVLR07XN0LXNbbXRs7TAwlmpwLHNob25pb1



2-b.inlogから同じメッセージ ID を元に引き当て元のメールの発信者と送信依頼日時を判断 する

(1) 1 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレスを調べる

▼From アドレスより元のメールの発信者が判明する

- 例)From:<u>user2</u> To:<u>bucho</u>ほか承認者2名
- (2) 元のメールが受領された日時を調べる
 - ▼受領日時より元のメールの送信依頼された最初の日時が判明する

例)<u>14:18:37</u>

/// 140609.log − メモ帳	×
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
<b0000318867@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:18:23] 192.168.0.75 [192.168.0.75] _ user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test- sample00_ip</b0000318867@test-sample00.jp>	
<b0000318868@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:18:37] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp_bucho@test-sample00.jp_shonin_b@test-sample00.jp_shonin_a@test- sample00.jp</b0000318868@test-sample00.jp>	
<80000318869@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:07] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp okyaku@eposttest.jp <80000318870@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:19] 192.168.0.75 [192.168.0.75]	

3-c. outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信された承認依頼メール・保留通知メールをチェックする

- (1) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼保留通知メールの自動発信が確認できる(*)
 - 例)From:<u>bucho</u> To:<u>user2</u> 14:18:37
- (2) From アドレスと To アドレス、送信時間

▼承認依頼メールの自動発信が確認できる

例) From:<u>user2</u> To:<u>bucho ほか承認者 2 名</u> <u>14:18:37</u>

140609.log − メモ帳	- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318867@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:18:23] to test-sample00.jp f	rom 🔺
bucho@test-sample00.jp to user2@test-sample00.jp	
BUUUUU318867@test-sampleUU.jp sent on [U9/Jun/2U14:14:18:23] to test-sampleUU.jp f	rom
userzetest-sampleuu.jp to buchoetest-sampleuu.jp IRAAAA3188670tost-samploAA in sont on EA9/lun/2014:14:18:23] to tost-samploAA in f	rom 📕
user2@test-sampleOO.jp to shopin b@test-sampleOO.jp	1011
B0000318867@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:18:23] to test-sample00.jp f	rom
user2@test-sampleAA ip to shopin_a@test-sampleAA ip	
B0000318868@test-sample00.jp sent on [<u>09/Jun/2014:14:18:37</u>] to test-sample00.jp f	rom
bucho@test-sampleUU.jp to user2@test-sampleUU.jp	
puouusioodowtest-sampleuu.jp sent on [U9/Jun/2014.14.10.57] to test-sampleuu.jp t user20test-sampleuu in to hucho0test-sampleuu in	rom
B0000318868@test-sample00.ip sent on 109/Jun/2014:14:18:37] totest-sample00.ip f	rom
user2@test-sample00.jp_to_shonin_b@test-sampleUU.jp_	
B0000318868@test-sample00.jp sent on L <u>09/Jun/2014:14:18:37</u> to test-sample00.jp f	rom
user2@test-sample00.ip_to_shonin_a@test-sample00.ip	
BUUUUU318869@test-sampleUU.jp sent on LU9/Jun/2U14:14:19:U/j to test-sampleUU.jp f	rom



(*) 保留通知メールについては、senderlog でも確認できます。[B0000318868-S0001] と"S"の枝番が付いたものが保留通知メールに該当します。

4-b. 再び inlog から [承認] した時間を元に承認が下され、配信の許可された日時を判断する

(1) 1でチェックした [承認] した時間を元に、新たに発行されたメッセージ ID を調べる
 ▼承認が下され、新たに発行されたメッセージ ID が判明する→5、6へ

例) メッセージ ID:<u>B0000318870</u>

- (2) メールが受領された日時を調べる、From と To アドレスを調べる
 - ▼外部への宛先アドレス、配信の許可された日時が判明する→5、6へ
 - 例) From:<u>user2</u> To:<u>okyaku@eposttest.jp</u>(外部) <u>14:19:19</u>

📕 140609.log - メモ帳
ファイJKE) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘJレプ(H)
<pre><b0000318867@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:18:23] 192.168.0.75 [192.168.0.75]</b0000318867@test-sample00.jp></pre>
<pre><b0000318868@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:18:37] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test- sample00 in</b0000318868@test-sample00.jp></pre>
<pre><build 1000.jp<br=""><build 1000318869@test-sample00.jp=""> [09/Jun/2014:14:19:07] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00_ip_okvaku@eposttest_ip</build></build></pre>
<pre><b0000318870@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:19] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp okyaku@eposttest.jp</b0000318870@test-sample00.jp></pre>
user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test- sample00.jp
KB0000318872@test-sample00.ip> [09/Jun/2014:14:19:54] 192.168.0.75 [192.168.0.75]

- 5-c. 再び outlocallog から BossCheck から自動発信された承認通知メールをチェックする
- (1) 4 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレス、送信時間
 - ▼承認通知メールの自動発信が確認できる
 - 例) From: <u>bucho</u> To: <u>user2</u>

From: bucho To: bucho 以外の承認者 2 名 14:19:19

/■140609.log - メモ帳	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
user2@test-sample00.jp to shonin_a@test-sample00.jp	
B0000318869@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:07] to test-sample00.jp 1	from
bucho@test-sampleUU.jp to user2@test-sampleUU.jp	C
BUUUUUJI88699@test-sampleUU.jp sent on [U9/Jun/ZUI4:I4:I9:U/] to test-sampleUU.jp 1 buoho@test-sampleUU.in to chopin b@test-sampleUU.in	Trom
B0000318869@test-sample00.jp to shorrn_b@test sample00.jp B0000318869@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:07] to test-sample00.jp f	from
bucho@test-sample00.ip to shonin a@test-sample00.ip	
B0000318870@test-sample00.jp sent on [<u>09/Jun/2014:14:19:19]</u> to test-sample00.jp 1	from
bucho@test-sampleUU.jp to user2@test-sampleUU.jp	_
BUUUU31887U@test-sampleUU.jp sent on L <u>U9/Jun/2U14:14:19:19</u> to test-sampleUU.jp 1	trom
bucho@test-sampleUU.jp to shonin b@test-sampleUU.jp	
B00003188/0@test-sample00.jp sent on L <u>09/Jun/2014:14:19:19</u> to test-sample00.jp f	trom
bucho@test-sample00.ip to shonin a@test-sample00.ip	
180000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/Z014:14:19:41] to test-sample00.jp 1 hucho@test-sample00 ip to user2@test-sample00 ip	trom



- 6-d. outlog から配送された日時を確認する
- (1) 1, 2で判明した元のメッセージ ID より、From と To アドレスを調べる
 ▼外部への宛先アドレスを再確認する

例) From:<u>user2</u> To:<u>okvaku@eposttest.ip</u>(外部)

(2) メールが配送された日時を調べる

▼外部へ配信が実行された日時が判明する

例)<u>14:19:20</u>

/// 140609.log − メモ帳	- O X
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318867@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:08] to eposttest.jp from user2@test-sample00 in to okyaku@eposttest in	
B0000318868@test-sample00.jp sent on [<u>09/Jun/2014:14:19:20</u>] to eposttest.jp from user2@test-sample00.jp to <u>okyaku@eposttest.jp</u>	

以上により図でまとめると、次のような経過であることがわかります。





■ [却下] メールを調べる場合

1-a. 承認/却下結果のログ-approval¥logより

- (1) [却下] メールのメッセージ ID を調べる → 2 へ
 ▼埋め込まれたメッセージ ID が判明する
 例) メッセージ ID:B0000318871
- (2) [却下]を下した承認者は誰かを調べる▼埋め込まれたアドレスより承認者が判明する

例)<u>bucho</u>

- (3) [却下] を下した時間を調べる →4へ
 - ▼ [承認] / [却下] された日時が判明する

例) 14:19:54

X140609.txt − 以モ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
[2014/06/09:14:19:07] [承認] 承認者=bucho@test-sample00.jp 承認メール =B0000318867@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pbl 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg [2014/06/09:14:19:19] [承認] 承認者=bucho@test-sample00.jp 承認メール =B0000318868@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pbl 9hQHRLc3Qtc2EtcGvIMDAuanAgICAg
[2014/06/09:14:19:54] [却下] 承認者=bucho@test-sample00.ip 承認メール = <mark>B0000318871@</mark> YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHR1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAgICAg
[2014/06/09:14:25:46] [承認」承認者=kacho@test=sample00.jp 承認メール =B0000318878@a2FjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCAg [2014/06/09:14:26:08] [承認] 承認者=kacho@test=sample00.jp 承認メール

2-b.inlogから同じメッセージ ID を元に引き当て元のメールの発信者と送信依頼日時を判断 する

(1) 1 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレスを調べる

▼From アドレスより元のメールの発信者が判明する

- 例) From:<u>user2</u> To:<u>bucho ほか 2 名</u>
- (2) 元のメールが受領された日時を調べる

▼受領日時より元のメールの送信依頼された最初の日時が判明する

例)<u>14:19:41</u>

140609.log - メモ帳	- O ×
ファイJl(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘノlプ(H)	
<pre>KB0000318869@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:07] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp okvaku@eposttest.jp</pre>	
<pre><b0000318870@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:19] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00_ip_ckyaku@posttest_ip_</b0000318870@test-sample00.jp></pre>	
<b0000318871@test-sample00.jp> [09/Jun/2014:14:19:41] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin a@te sample00.jp</b0000318871@test-sample00.jp>	st-
<pre>\Comparison Comparison Compa</pre>	



3-c. outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信された承認依頼メール・保留通知メールをチェックする

- (1) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼保留通知メールの自動発信が確認できる(*)
 - 例) From: bucho To: user2 14:19:41
- (2) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼承認依頼メールの自動発信が確認できる
 - 例) From:<u>user2</u> To:<u>bucho ほか 2 名</u> <u>14:19:41</u>

// 140609.log - メモ帳	<u>- 🗆 ×</u>
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318870@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:19] to test-sample00.jp f	rom 🔺
bucho@test-sample00.jp to shonin_b@test-sample00.jp B0000318870@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:19] to test-sample00.jp f bucho@test-sample00.jp to shonin a@test-sample00.jp	rom
B0000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:41] to test-sample00.jp f	rom
<u>bucho@test-sample00.jp</u> to <u>user2@test-sample00.jp</u> B0000318871@test-sample00.jp sent on [<u>09/Jun/2014:14:19:41</u>] to test-sample00.jp f user2@test-sample00 in to bucho@test-sample00 in	rom
B0000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:41] to test-sample00.jp f	rom 🕇
BUUUUU318871@test-sample00.jp to shonin b@test-sample00.jp BUUUUU318871@test-sample00.jp sent on [U9/Jun/2U14:14:19:41] to test-sample00.jp f user2@test-sample00.jp to shonin a@test-sampleUU.jp	rom
BUUUUJI0072@test-sampleUU.jp sent on [U97Juh/2014:14:19:54] to test-sampleUU.jp f bucho@test-sampleU0.jp to shonin b@test-sampleU0.jp	rom

(*) 保留通知メールについては、senderlog でも確認できる。

[B0000318871-S0001] と"S"の枝番が付いたものが保留通知メールに該当する。

4-b. 再び inlog から [却下] した時間を元に BossCheck から自動発信された却下通知メー ルをチェックする

- (1) 1 でチェックした [却下] した時間を元に、新たに発行されたメッセージ ID を調べる
 ▼却下が下され、新たに発行されたメッセージ ID が判明する→5へ
 - 例) メッセージ ID:<u>B0000318872</u>
- (2) From アドレスと To アドレス、送信時間

▼却下通知メールの自動発信受領が確認できる

例) From: <u>bucho</u> To: <u>user2</u> <u>14:19:54</u>



5-c. 再び outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信され た却下通知メールをチェックする

(1) 4 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレス、送信時間

▼却下通知メールの自動発信が確認できる

例) From: <u>bucho</u> To: <u>user2</u>

From: bucho To: bucho 以外の承認者 2 名 14:19:19

/■140609.log - メモ帳	_ 🗆 🗙
ファイJ(/E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:41] to test-sample00.jp f user2@test-sample00.jp to bucho@test-sample00.jp	rom 🔺
B0000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:41] to test-sample00.jp f user2@test-sample00.jp to shonin b@test-sample00.jp	rom
B0000318871@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:41] to test-sample00.jp f	rom
B0000318872@test-sample00.jp sent on [<u>09/Jun/2014:14:19:54</u>] to test-sample00.jp f bucho@test-sample00.jp to shonin b@test-sample00.jp	rom
80000318872@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014:14:19:54] to test-sample00.jp f bucho@test-sample00.jp to user2@test-sample00.jp	rom 📕
B0000318872@test-sample00.jp sent on L09/Jun/2014:14:19:54] to test-sample00.jp f bucho@test-sample00.jp to shonin a@test-sample00.jp	rom
B0000316073@test-sample00.jp sent on [09/Jun/2014.14.22.53] to test-sample00.jp f Ishonin a@test-sample00.ip to shonin a@test-sample00.ip	TOM

以上により図でまとめると、次のような経過であることがわかります。



のでアーカイブデータなどを元に調べてください。



新機能:上長承認記録ログに送信元 IP アドレスと送信先アドレスを記載

2014年7月1日公開の差分を適用すると、上長承認記録ログ(approval¥log)に送信元 IP アドレス と送信先アドレスが記載されるようになりました。サポート2サイトより次の差分をダウンロードし てください。

• E-Post SMTP Server Standard (E-Post BossCheck Server)

差分アップデートプログラム(20140623 差分)

• E-Post SMTP Server Standard (x64) (E-Post BossCheck Server (x64))

差分アップデートプログラム (20140623 差分)

差分適用後、上長承認記録ログを拡張するオプションが追加されるようになりますので、指定フォル ダにテキストで設定ファイルを作成し、以下の説明の通り、設定値"1"を設定すると、送信元 IP アド レスと送信先メールアドレスが上長承認記録ログ(approval¥log)に追加されるようになります。

これにより、[承認] したときの送信先メールアドレスだけでなく、[却下] したときの当初の宛先で ある送信先メールアドレスもわかるようになりました。さらに、送信元 IP アドレスも記録されるよ うになったため、承認者アドレスを共用しているときでも、どのクライアント PC から承認を下した かの判断ができるようになりました。

<メール作業フォルダ>¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥MailApprovalLogLevel.1 (DWORD default:0)履歴に送信元 IP や送信先を(0:含まない1:含む) ※"MailApprovalLogLevel.1"ファイルの拡張子は".1"でこれは DWORD 値であることを意味する

(出力事例)

■ 140626.txt - 以モ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
[2014/06/26:16:46:49] [承認] 承認者=bucho@test-sample00.jp (192.168.0.75) 承認メール =B0000318902@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZ1AwLmpwLHNob25pb1 9hQHR1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAgICAg 送信先=okyaku@eposttest.jp [2014/06/26:17:09:49] [承認] 承認者=kacho@test-sampleUU.jp (192.168.0.75) 承認メール =B0000318804@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxrYWNob0B0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb19hQH R1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAg 送信先=ippan@eposttest.jp [2014/06/26:17:11:12] [却下] 承認者=bucho@test-sample00.jp (192.168.0.75) 承認メール =B0000318907@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb19hQH R1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAg 送信先=ippan@eposttest.jp [2014/06/26:17:11:12] [却下] 承認者=bucho@test-sample00.jp (192.168.0.75) 承認メール =B0000318907@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHR1c3Qtc2FtcGx1MDAuanAgICAg 送信先=okyaku@eposttest.jp
▲ <u>緑色</u> …送信元 IP アドレス <u>オレンジ色</u> …送信先メールアドレス



13. 上長承認時に承認者・元のメール・外部宛先などをログから判断する方法 (EPSTRS v4.82 以降)

2014 年 7 月 1 日に公開された最新差分を適用すると、EPSTRS のバージョンが 4.82 になりま す。またはこれより新しい差分を適用しても同様で、EPSTRS v4.82 以降では、前ページの記事 「新機能:上長承認記録ログに送信元 IP アドレスと送信先アドレスを記載」で説明している通 り、レジストリ値を設定することで、上長承認記録ログ(approval¥log)に送信元 IP アドレス と送信先アドレスが新しく追加されます。これにより、承認者によって却下されたメールでも、 本来の送信先アドレスがどこ宛だったのか、ログから判断できるようになります。 上長承認時に、メールを承認した者は誰か、元の承認を必要としたメールはどれか、そのメール の外部宛先はどこ宛なのか、などを判断していくため、ログを順番に突き合わせて調べます。承 認/却下それぞれどのように見ていくか例にあげてみましょう。なお、ここでは下記のログが取

得されている必要があります。ログを取得していない場合は、取得する設定にしてください。

- a. 上長承認の履歴一覧(上長承認記録ログ) [approval¥log]
- b. SMTP 受信ログ [inlog]
- c.SMTP ローカル送信ログ [outlocallog]

(※レジストリでの設定が必要。詳細はオンラインヘルプか FAQ 記事を参照)

d. SMTP 送信ログ [outlog]

e. SMTP 配送詳細ログ [senderlog] (※必須ではないが、よりくわしく調査するときに参考にする)

■ [承認] メールを調べる場合

- 1-a. 承認/却下結果のログ-approval¥log より
- (1) [承認] メールのメッセージ ID を調べる →2へ
 ▼埋め込まれたメッセージ ID が判明する
 例) メッセージ ID:<u>B0000318995</u>
- (2) [承認] を下した承認者は誰かを調べる
 ▼埋め込まれたアドレスより承認者が判明する
 例) <u>bucho</u>

bi) <u>Ducho</u>

(3) [承認]を下した時間を調べる →4へ

▼ [承認] された日時が判明する

例)<u>19:37:00</u>

- (4) [承認] を下した送信元 IP アドレス
 - ▼ [承認] を下したクライアントの IP アドレスが判明する

例)<u>192.168.0.75</u>

- (5) [承認] されたメールの送信先メールアドレス
 - ▼ [承認] されたメールの送信先メールアドレスが判明する
 - 例) <u>okyaku@eposttest.jp</u>



■141024.txt - 犬モ帳
ファイJKE) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg 送信先=okyaku@eposttest.jp info@eposttest.jp
[2014/10/24:19:37:00] [承認] 承認者=bucho@test-sample00.ip (192.168.0.75) 承認メール = <u>B0000318995</u> @YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg 送信先=okyaku@eposttest.jp [2014/10/24:19:39:51] [承認] 承認者=sbopin_a@tost=sample00_in_(192.168.0.75) 承認メール
T=BUUUU319UUT@YnVjaG9AdGVzdCTzYWTwbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkBUZXNULXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pbT 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg 送信先=ippan@eposttest.jp [2014/10/24:19:40:24] [却下] 承認者=shonin_a@test-sample00.jp(192.168.0.75)承認メール =B0000319002@YnVjaG9AdGVzdCTzYWTwbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXNOLXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pbT 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg 送信先=info@eposttest.jp

2-b.inlogから同じメッセージ ID を元に引き当て元のメールの発信者と送信依頼日時を判断 する

(1) 1 で判明したメッセージ ID より、From アドレスを調べ、To アドレスを確認する

- ▼From アドレスより元のメールの発信者が判明する
- 例) From: user2 To: bucho ほか承認者 2 名
- (2) 元のメールが受領された日時を調べる

▼受領日時より元のメールの送信依頼された最初の日時が判明する

例) <u>19:36:08</u>

📗 141024.log - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test- 💻
<pre><b0000318995@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:36:08] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.ip bucho@test-sample00.ip shonin b@test-sample00.ip shonin a@test- sample00.ip </b0000318995@test-sample00.jp></pre>
user2@test-sample00.jp info@eposttest.jp <b0000318997@test-sample00.jp> [24/0ct/2014:19:36:52] 192.168.0.75 [192.168.0.75] bucho@test-sample00.jp user2@test-sample00.jp <b0000318998@test-sample00.jp> [24/0ct/2014:19:37:00] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp okyaku@eposttest.jp <b0000318999@test-sample00.jp> [24/0ct/2014:19:38:30] 192.168.0.75 [192.168.0.75] shonin a@test-sample00.jp shonin a@test-sample00.jp</b0000318999@test-sample00.jp></b0000318998@test-sample00.jp></b0000318997@test-sample00.jp>

3-c. outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信された承認依頼メール・保留通知メールをチェックする

(1) From アドレスと To アドレス、送信時間

▼保留通知メールの自動発信が確認できる(*)

例) From: <u>bucho</u> To: <u>user2</u> <u>19:36:08</u>

- (2) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼承認依頼メールの自動発信が確認できる
 - 例) From:<u>user2</u> To:<u>bucho</u>ほか承認者2名 <u>19:36:08</u>



////////////////////////////////////	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B00000318994@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:35:49] to test-sample00.jp f	rom 🔺
B0000318995@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:36:08] to test-sample00.jp f	rom
B0000318995@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:36:08] to test-sample00.jp f	'rom
user2@test-sample00.ip to shonin b@test-sample00.jp B0000318995@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:36:08] to test-sample00.jp f	rom
bucho@test-sample00.ip to user2@test-sample00.ip B0000318995@test-sample00.ip sent on [24/Oct/2014:19:36:08] to test-sample00.ip f	rom
user2@test-sample00.ip to shonin a@test-sample00.jp	
bucho@test-sample00.jp to user2@test-sample00.jp	1.011
B0000318996@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:36:43] to test-sample00.jp f	rom 🚽

(*) 保留通知メールについては、senderlog でも確認できます。
 [B0000123123-S0001] のように"S"の枝番が付いたものが保留通知メールに該当します。

4-b. 再び inlog から [承認] した時間を元に承認が下され、配信の許可された日時を判断する

- (1) 1でチェックした [承認] した時間を元に、新たに発行されたメッセージ ID を調べる
 ▼承認が下され、新たに発行されたメッセージ ID が判明する→5、6へ
 例)メッセージ ID:<u>B0000318998</u>
- (2) メールが受領された日時を調べる、From と To アドレスを調べる ▼外部への宛先アドレス、配信の許可された日時が判明する→5、6へ
 - 例)From:<u>user2</u> To:<u>okvaku@eposttest.jp</u>(外部) <u>19:37:00</u>

	_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	1
user2@test-sample00.jp info@eposttest.jp <b0000318997@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:36:52] 192.168.0.75 [192.168.0.75]</b0000318997@test-sample00.jp>	
<pre><b0000318998@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:37:00] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp okyaku@eposttest.jp </b0000318998@test-sample00.jp></pre>	
shonin_a@test-sample00.jp shonin_a@test-sample00.jp <b0000319000@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:38:39] 192.168.0.75 [192.168.0.75] shonin_a@test-sample00.jp shonin_a@test-sample00.jp <b0000319001@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:39:06] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_sound sho sample00.jp shonin_sound sho sample00.jp shonin_sound sho sample00.jp sho sho sample00.jp sho sho sample00.jp sho sho sample00.jp sho sample00.jp sho sho sample00.jp s</b0000319001@test-sample00.jp></b0000319000@test-sample00.jp>	st-

5-c. 再び outlocallog から BossCheck から自動発信された承認通知メールをチェックする

(1) 4 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレス、送信時間

▼承認通知メールの自動発信が確認できる

例)From:<u>bucho</u> To:<u>user2</u>

From: bucho To: bucho 以外の承認者 2名 19:37:00



////////////////////////////////////	_ 🗆 X
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318997@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:36:52] to test-sample00.jp f	from 🔺
B0000318998@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:37:00] to test-sample00.jp f	from
B0000318998@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:37:00] to test-sample00.jp f bucho@test-sample00 in to shopin b@test-sample00 in	from
B0000318998@test-sample00.jp sent on [24/Uct/2014:19:37:00] to test-sample00.jp f	from 📘
Decenerate sampled. p to shorth detest sampled. p Decenerate sont sampled. p to short a 124/0.4/2014.10.20.301 to tost sampled. in f	Free -
shonin_a@test-sample00.jp to shonin_a@test-sample00.jp B0000319000@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:38:39] to test-sample00.jp f shonin_a@test-sample00 in to shonin_a@test-sample00 in	from
B0000319001@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:06] to test-sample00.jp f	from 🖵

6-d. outlog から配送された日時を確認する

(1) 1, 2で判明した元のメッセージ ID より、From と To アドレスを調べる

▼外部への宛先アドレスを再確認する

- 例) From:<u>user2</u> To:<u>okyaku@eposttest.jp</u>(外部)
- (2) メールが配送された日時を調べる

▼外部へ配信が実行された日時が判明する

例)<u>19:37:02</u>

////////////////////////////////////	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000318993@test-sample00.jp_sent_on_[24/Oct/2014:19:36:47] to_eposttest.jp_from	-
<u>B0000318995</u> @test-sample00.jp sent on [24/0ct/2014:19:37:02] to eposttest.jp from user2@test-sample00.jp to okyaku@eposttest.jp	
user2@test-sample00.jp to ippan@eposttest.jp	-

以上により図でまとめると、次のような経過であることがわかります。





■ [却下] メールを調べる場合

1-a. 承認/却下結果のログ-approval¥logより

- (1) [却下] メールのメッセージ ID を調べる → 2 へ
 ▼埋め込まれたメッセージ ID が判明する
 例) メッセージ ID:B0000319002
- (2) [却下]を下した承認者は誰かを調べる▼埋め込まれたアドレスより承認者が判明する

例)<u>shonin a</u>

- (3) [却下]を下した時間を調べる →4へ
 ▼ [承認] / [却下] された日時が判明する
 例) <u>19:40:24</u>
- (4) [却下]を下した送信元 IP アドレス
 ▼ [却下]を下したクライアントの IP アドレスが判明する
 例) 192.168.0.75
- (5) [却下] されたメールの送信先メールアドレス
 - ▼ [却下] されたメールの送信先メールアドレスが判明する
 - 例) info@eposttest.jp

■141024.txt - メモ帳 ファイルE)編集(E) 書式(Q) 表示(Y) ヘルプ(H) =B0000318995@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 ▲ 9hQHRIc3Qtc2FtcGxIMDAuanAgICAg 送信先=okyaku@eposttest.jp [2014/10/24:19:39:51] [承認] 承認者=shonin_a@test-sample00.jp (192.168.0.75) 承認メール =B0000319001@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHRIc3Qtc2EteCxIMDAuanAgICAg 送信先=ippen@poetteot.jp [2014/10/24:19:40:24] [却下] 承認者=shonin a@test-sample00.ip (192.168.0.75) 承認メール =B0000319002@YnVjaG9AdGVzdC1zYW1wbGUwMC5qcCxzaG9uaW5fYkB0ZXN0LXNhbXBsZTAwLmpwLHNob25pb1 9hQHRIc3Qtc2EteCxIMDAuanAgICAg 送信先=info@eposttest.jp

2-b.inlogから同じメッセージ ID を元に引き当て元のメールの発信者と送信依頼日時を判断 する

(1) 1 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレスを調べる

▼From アドレスより元のメールの発信者が判明する

- 例)From:<u>user2</u> To:<u>bucho</u>ほか2名
- (2) 元のメールが受領された日時を調べる

▼受領日時より元のメールの送信依頼された最初の日時が判明する

例)<u>19:39:39</u>



📕 141024.log - メモ帳	×
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
<pre><b0000319000@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:38:39] 192.168.0.75 [192.168.0.75] shonin_a@test-sample00.jp shonin_a@test-sample00.jp <b0000319001@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:39:06] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp bucho@test-sample00.jp shonin_b@test-sample00.jp shonin_a@test-</b0000319001@test-sample00.jp></b0000319000@test-sample00.jp></pre>	
<pre>Sample00.jp <b0000319002@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:39:39] 192.168.0.75 [192.168.0.75] user2@test-sample00.jp sample00.jp</b0000319002@test-sample00.jp></pre>	
user2@test-sample00.jp ippan@eposttest.jp <b0000319004@test-sample00.jp> [24/Oct/2014:19:40:24] 192.168.0.75 [192.168.0.75] shonin_a@test-sample00.jp user2@test-sample00.jp</b0000319004@test-sample00.jp>	•

3-c. outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信された承認依頼メール・保留通知メールをチェックする

- (1) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼保留通知メールの自動発信が確認できる(*)
 - 例)From:<u>bucho</u> To:<u>user2</u> <u>19:39:39</u>
- (2) From アドレスと To アドレス、送信時間
 - ▼承認依頼メールの自動発信が確認できる
 - 例)From:<u>user2</u> To:<u>bucho ほか 2 名</u> <u>19:39:39</u>

////////////////////////////////////	_ 🗆 🗙
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
B0000319001@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:06] to test-sample00.jp fr	rom 🔺
B0000319002@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:39] to test-sample00.jp fr	rom
B0000319002@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:39] to test-sample00.jp fr	rom
B0000319002@test-sample00.jp sent on [24/Uct/2U14:19:39:39] to test-sample00.jp fr	rom
80000319002@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:39] to test-sample00.jp fr user2@test-sample00.jp to shonin a@test-sample00.jp	rom
800003100030test cample00.jp cont on 124/Ust/2014;10:30:51] to test cample00.jp fr	
shonin_a@test-sample00.jp to user2@test-sample00.jp B0000319003@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:51] to test-sample00.jp fr	rom 🚽

(*) 保留通知メールについては、senderlog でも確認できる。

[B0000123123-S0001] のように"S"の枝番が付いたものが保留通知メールに該当する。

4-b. 再び inlog から [却下] した時間を元に BossCheck から自動発信された却下通知メー ルをチェックする

(1) 1 でチェックした [却下] した時間を元に、新たに発行されたメッセージ ID を調べる
 ▼却下が下され、新たに発行されたメッセージ ID が判明する→5 へ
 例) メッセージ ID:<u>B0000319004</u>



(2) From アドレスと To アドレス、送信時間

▼却下通知メールの自動発信受領が確認できる

例) From: shonin a To: user2 19:40:24



5-c. 再び outlocallog から同じメッセージ ID を元に引き当て BossCheck から自動発信され た却下通知メールをチェックする

(1) 4 で判明したメッセージ ID より、From と To アドレス、送信時間

▼却下通知メールの自動発信が確認できる

- 例)From:<u>shonin a</u> To:<u>user2</u>
 - From: shonin a To: shonin a 以外の承認者 2 名 19:40:24

/	_ 🗆 ×	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)		
B0000319003@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:51] to test-sample00.jp f	rom 🔺]
B0000319003@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:51] to test-sample00.jp f	rom	
B00003T9003@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:39:51] to test-sample00.jp f	rom	
B000031904@test-sample00.jp to shorring_setest sample30.jp f	rom	
B0000319004@test-sample00.jp sent on [24/0ct/2014:19:40:24] to test-sample00.jp f	rom	
B0000319004@test-sample00.jp to snorin b@test-sample00.jp B0000319004@test-sample00.jp sent on [24/Oct/2014:19:40:24] to test-sample00.jp f shonin a@test-sample00.jp to user2@test-sample00.jp	rom	

以上により図でまとめると、次のような経過であることがわかります。





索引

A

approvalgetlog_, - 35 approval¥log, - 36 -, - 40 -, - 44 -, - 48 -

Е

eml 形式, - 30 -, - 31 -Exchange Server, - 2 -, - 19 -

G

gateway.dat, - 22 -

Ι

inlog, - 36 -, - 37 -, - 40 -, - 41 -, - 44 -, - 45 -, - 48 -, - 49 -

Κ

keyword.txt, - 28 -, - 29 -

\mathbf{M}

Mail Control, - 4 -, - 7 -, - 8 -, - 10 -, - 11 -

0

OP25B, - 10 outlocallog, - 36 -, - 37 -, - 41 -, - 44 -, - 45 -, - 49 outlog, - 36 -, - 39 -, - 44 -, - 47 -

S

sender.dat, - 20 -, - 27 senderlog, - 36 -, - 44 setproxyuser_, - 26 -, - 33 -SMTPゲートウェイ, - 4 -, - 7 -, - 10 -, - 11 -, - 19 -, - 20 -SMTPサーバ, - 4 -, - 5 -, - 6 -, - 10 -, - 17 -SMTP 認証, - 8 -, - 10 -, - 12 -, - 13 -

W

waitlist_, - 26 -, - 34 -

あ

アカウントマネージャ, -8 -, -13 -, -20 -, -27 -運用ガイドライン, -1 -, -2 -エイリアス, -21 -

か

既存のメールサーバ, -2-, -4-, -7-, -8-, -10-記録ログ, -35-, -36-, -44-個人情報保護法, -1-

さ

サブドメイン名, - 19 -, - 20 -承認待ちリスト, - 1 -, - 26 -, - 34 -送信制限機能, - 4 -

た

代替ポート, - 10 -, - 12 -



代理承認機能,-1-,-26-

代理承認者

を切り替える, - 33 -を元に戻す, - 33 -テーブル編集, - 22 -添付ファイルあり, - 27 -, - 28 -, - 29 -

な

日本版 SOX 法, -1-

は

フォワード, -4-, -7-, -10-, -11-, -19-ホスティング, -2-, -9-, -10-, -11-, -12-, -13-

ß

履歴一覧

を取得する, - 35 -

レンタルサーバ, -2-, -9-, -10-, -11-, -12-, -13-